

平成28年度

土浦市中学生交換交流事業（パロアルト市）実施報告書



主催：土浦市・土浦市国際交流協会

ごあいさつ

私たち平成27年度土浦市中学生交換交流事業派遣生15名は、平成28年3月12日から22日までの11日間、アメリカ、カリフォルニア州のパロアルト市に行ってきました。

私たちはそこでおよそ1週間のホームステイをしながら、バディの通う学校の訪問、ホストファミリーに日本食を紹介するクッキングナイトなどの交流事業に参加しました。

この11日間、私たちは日本とアメリカの文化や生活習慣の違いなどを肌で感じ、学ぶことができました。

アメリカの方たちは、みんなとても優しく、気さくで積極的に話しかけてきてくれたので、最初は緊張していた私ですが、すぐにコミュニケーションがとれ、友達がたくさんできていました。そして、コミュニケーションをとるには自分から話しかけてみることも大切だと分かりました。

日本とは全く違う文化がたくさんあり、驚きの毎日でしたが、アメリカの良さを発見でき、さらに日本の良さを再発見できました。

今回の交換交流事業はとても貴重な経験になりました。この経験を将来に生かし、そして、多くの人に伝えていきたいと思います。

この「土浦市中学生交換交流事業実施報告書」は、私たちが経験してきたこと、学んだこと、そして素晴らしい経験をさせて頂いた私たちの思いが詰まったものです。

最後になりましたが、土浦市長および土浦市国際交流協会会長を始め、関係者の皆様、そして両親に心より感謝しています。

派遣生代表

土浦第三中学校 山口 安麻音

目次

派遣の部

☆パロアルト市紹介 1
☆派遣者名簿 2
☆研修日程 3
☆現地研修日程 4
☆派遣生レポート	
事前研修 ～ 帰国報告会 5～13
ホストファミリー・ホストダイレポート 14～28
パロアルト派遣を通して感じたこと 29～43
☆研修だより From U. S. A 44～55
☆引率者より 56～58

受入れの部

☆参加者名簿 59～60
☆受入れ日程 61
☆パロアルト市中学生の感想 62
☆パロアルト市引率者の感想 63～66
☆受入れを通じて感じたこと(土浦市保護者より) 67～68

付録

☆派遣&受入れ 活動紹介写真 69～80
----------------	-------------

派遣の部

姉妹都市 パロアルト市ってどんなところ？



パロアルト市



↑パロアルト市庁舎前にある姉妹都市を示す看板

◆ 位置

パロアルト市は、アメリカ合衆国カリフォルニア州北部サンフランシスコ湾岸地域のサンタクララ郡にある都市です。
(サンフランシスコの南約56 km、車で約50分の距離にあります。)

◆ 面積

約70 km² (土浦市のおよそ2分の1)

◆ 人口

約6万6千人

◆ 概要

パロアルト市はシリコンバレー北端部にあり、スタンフォード大学の町と言われております。全米屈指の大学のお膝元であり教育水準のもっとも高い都市と評され、その住みやすさも相まって多くの人々を惹きつけております。大学は数多くの起業家、エンジニアを輩出し、ゆえにパロアルトは多数のハイテク企業が生まれ育っていく地となりました。いまや世界の巨人とも言えるアップルコンピュータ、グーグル、フェイスブックなどパロアルトから羽ばたいた大企業は枚挙に暇がありません。

「パロアルト」とは、スペイン語で“El Palo Alto (背の高い木)”を意味する言葉です。サンフランシスコキート川沿いのアメリカ杉にちなんで名付けられました。

◆ 交流の経緯

平成5(1993)年に旧新治村に進出したパロアルト市に本社のある企業の協力により、同市在住社員の家庭にホームステイする派遣事業を開始しました。ネイバーズアブロード(パロアルト市の国際交流団体)を中心とする多くのボランティアの協力により交換交流を継続しております。

平成21(2009)年4月、両市は姉妹都市の締結をし、土浦市にとって初めての姉妹都市が誕生しました。

平成28年3月土浦市中学生交換交流事業 パロアルト市派遣生・引率一覧

土浦市側		パロアルト市側	
氏名	学校名	氏名	学校名
赤羽根 菜月	土浦第一中学校	Daisy James デージー・ジェイムズ	ジョーダン中学校
内山 侑海	土浦第一中学校	Vera Wu ヴェラ・ウー Michaela Seah ミカエラ・シア	JLS 中学校
宇都野 光希	土浦第二中学校	Evan Bian エヴァン・ビエン	JLS 中学校
遠藤 蘭	土浦第二中学校	Amelia Mao アメリア・マオ	JLS 中学校
舘岡 優希	土浦第三中学校	Max Robinson マックス・ロビンソン	JLS 中学校
山口 安麻音	土浦第三中学校	Wendy Sakuma ウェンディ・サクマ	JLS 中学校
上久保 喜仁	土浦第四中学校	Quinn Arbolante クイン・アーボランテ	JLS 中学校
篠原 さら	土浦第四中学校	Anali Santos アナリー・サントス	ジョーダン中学校
河崎 千夏	土浦第五中学校	Loeline Rudelle ローライン・ルデル	ジョーダン中学校
鈴木 直也	土浦第六中学校	Riley Tsang ライリー・ツァン	ジョーダン中学校
坂井 遥香	土浦第六中学校	Erin Lucich エリン・ルチッチ	JLS 中学校
渡邊 悠	都和中学校	Connor Beaudry コナー・ボードリー	ジョーダン中学校
星 梨々花	都和中学校	Amelia Lagna アメリア・ラグナ	ジョーダン中学校
稲見 悠	新治中学校	Krista Robins クリスタ・ロビンス	ジョーダン中学校
大石 弥歩	新治中学校	Angela Bi アンジェラ・ビ	ジョーダン中学校

引率者一覧

氏名	所属
櫻井 奈都子	土浦第四中学校教諭
田口 牧穂	土浦市市民活動課

研修日程

日 程	内 容
平成27年 12月24日(水)	保護者説明会 ・派遣全般に関する留意点について
平成28年 1月28日(木)	第1回事前研修 ・現地での交流内容について ・英会話研修
2月12日(金)	第2回事前研修 ・派遣中の役割分担について ・課題発表 ・英会話研修
3月 4日(金)	第3回事前研修 ・諸事項の確認 ・答礼パーティーリハーサル
3月12日(土)	結団式・出発
3月12日(土) ～22日(火)	現地派遣研修
3月25日(金)	帰国報告会
5月17日(火)	第1回受入準備研修 ・パロアルト市受入全般について ・歓迎会準備
6月 1日(水)	第2回受入準備研修 ・諸事項の確認 ・歓迎会準備
6月 9日(木) ～19日(日)	パロアルト市中学生等受入

現地研修日程

No.	月日	発着／滞在地	現地時間	スケジュール
1	3月 12日 (土)	土浦市発 成田空港着 成田空港発	13:30 15:30 18:20	バスにて土浦市(霞浦の湯)から成田空港へ 成田空港到着 出国手続後、空路サンフランシスコへ(UA838便)
		サンフランシスコ着 パロアルト市	10:35 11:40 12:30	サンフランシスコ国際空港到着 入国手続後、パロアルト市へ パロアルト市ルーシースターン・コミュニティセンター にてホストファミリーと対面、歓迎パーティー パーティー終了後、各ホームステイ先へ (ホームステイ)
2	13日 (日)	パロアルト市	終日	ホストデイ(ホストファミリーとともに) (ホームステイ)
3	14日 (月)	パロアルト市	日中 夕方	バディとともに学校訪問、授業体験 パロアルト市議会訪問 (ホームステイ)
4	15日 (火)	パロアルト市	終日	バディとともに学校訪問、授業体験 (ホームステイ)
5	16日 (水)	パロアルト市	午前 午後	バディとともに学校訪問、授業体験(1・2時限目) スタンフォード大学見学 (ホームステイ)
6	17日 (木)	パロアルト発 ヨセミテ着	8:00 午後	各中学校集合後、ヨセミテへ ヨセミテ国立公園見学 (ヨセミテ泊)
7	18日 (金)	ヨセミテ ヨセミテ発 パロアルト市	午前 午後 18:00	ヨセミテ国立公園見学 ヨセミテ国立公園発 ミッチェルパーク・コミュニティセンターにて ビンゴナイト (ホームステイ)
8	19日 (土)	パロアルト市	終日	ホストデイ(ホストファミリーとともに) (ホームステイ)
9	20日 (日)	パロアルト市	9:00 10:00 11:30 午後	答礼パーティー会場集合、準備 ルーシースターン・コミュニティセンターにて 答礼パーティー パーティー終了後、サンフランシスコへ サンフランシスコ市内見学、フィッシャーマンズワーフ 周辺散策など (サンフランシスコ泊)
		サンフランシスコ市		
10	21日 (月)	サンフランシスコ市 サンフランシスコ着	午前 12:10	朝食後、サンフランシスコ国際空港へ 出国手続後、空路成田へ(UA837便) (機内泊)
11	22日 (火)	成田空港着 成田空港発 土浦市着	15:15 16:20 18:00	入国手続後、バスにて土浦市へ 旧土浦市役所本庁舎(下高津)到着後、解散

派遣生レポート

事前研修・結団式

担当:新治中

☆事前研修

- 1回目
- ・グループに分かれて ALT の先生と英会話研修
 - ・現地ホテルでの部屋割り・答礼パーティーの分担
 - *初めて全員と顔を合わせました。
ドキドキしながら始まった研修会です！
- 2回目
- ・グループに分かれて ALT の先生と英会話研修
 - ・答礼パーティーのレクリエーション決め
 - *この日会場に行くと机にバディのプロフィールが！！
お互いに見せ合いっこをしてテンションが上がりました！
- 3回目
- ・JTB の方と日程や持ち物のチェック
 - ・答礼パーティーのレクリエーション最終確認
 - *顔馴染みになりつつあるメンバーとリハーサルをしました。

**事前研修をしっかり終え、
あとは出発を待つだけです！**



☆結団式 3月12日

- ・主催者・来賓挨拶
 - ・引率の櫻井先生・派遣生代表の山口さんの挨拶
 - ・土産品の披露
- *たくさんの方々から励ましの言葉をいただきました。
しかし、まだアメリカに行く実感が沸かない人もちらほら…。
遠足気分バスに乗り込みました！



歓迎パーティー

担当： 土浦五中



パロアルトのみなさんが作ってくれた旗です。
盛大に迎えてくれました！

みんなでご飯を食べました！
誕生日が近かった人に、「Happy birthday to you」を歌いました。



食事を通してみんなの距離が縮まり、ホームステイがより楽しみになりました！！

JLS 中学校

担当:土浦三中



JLS 中学校では、日本の中学校とは違い、生徒が毎時間教科ごとの教室に移動します。

←日本語教室の様子

アメリカの皆さんは本当に親切で、授業で分からないことがあると優しく教えてくれました。



給食が無いので、お弁当を持ってくるか、カフェテリアで買います。JLS 中学校では、多くの生徒が外で食べていました。

←外の運動場
とっても広い！

JORDAN MIDDLE SCHOOL

担当：都和中



ジョーダン中学校への通学方法は、自転車や徒歩、車など様々でした。

また、制服がなく、生徒たちは私服で登校していて、髪の毛を染めている人も見かけました。

日本の学校とは違って廊下に生徒1人1人のロッカーがある為、生徒たちは毎時間ごとにロッカーへ行き次の授業の用意を取りに行っていました。2時間目と3時間目の間には「ブランチ」というおやつがありました。

「JTV」と呼ばれるスクールテレビがあって、毎日2時間目に放送されていました。

授業では黒板ではなくホワイトボードを使ったり、1人1つタブレットが配られたりしていました。



日本語クラスの授業の様子

←

校内の様子

→



ジョーダン中学校は1階建てだったので敷地が日本の学校よりも広く感じられました。日本の学校と比べると、全体的に校風が自由でした。



Stanford University

担当 土浦一中



スタンフォード大学は、シリコンバレーの中心にあります。

←フーバータワー

このように白っぽい建物がたくさんありました。この建物は大学卒業生のHerbert Clark Hooverにより建設されました。

実際にのぼってみて、景色にとっても感動しました。



←上から見た景色です。

敷地面積134.9平方キロメートル(東京ドーム約700倍)とだけあって、すごく広かったです。



←メモリアルチャーチです。

夫婦のどちらかに卒業生がいれば実際に結婚式をあげることができます。ステンドグラスで絵が描かれています。女の人と男の人の描かれている割合が同じくらいなのは珍しいそうです。

ヨセミテ国立公園を訪れて

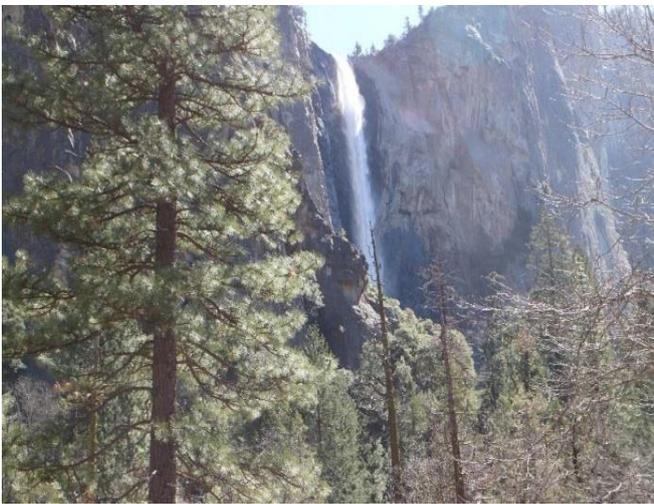
担当：土浦四中

<ヨセミテ国立公園とは>

ヨセミテ国立公園は、アメリカ合衆国カリフォルニア州にあります。1984年、ユネスコの世界遺産(自然遺産)に登録されました。公園の面積は3,081平方キロメートルで、シエラネバダ山脈の西山麓に広がっています。ここには年間350万人以上が訪れますが、そのほとんどが集まるのは公園全体の1%にも満たないヨセミテ渓谷(約18平方キロメートル)です。

<研修内容>

私たちは、3月17・18日にヨセミテ国立公園を訪れました。



ブライダルベールフォール

1日目はブライダルベールフォールを見に行きました。この滝は風にふかれると花嫁のベールのように広がるため、この名前がついたそうです。

ここはパロアルトの町中より気温が低く、特に朝方は冷え込みました。

お昼ごはんはみんなでフードコートのような場所でとりました。とても美味しかったです。この後は敷地内の色々な場所をバスで巡り、そのままホテルに宿泊しました。夜は、集まってホームステイ最終日に行く答礼パーティーのリハーサルをしました。



ミラーレイク

2日目はミラーレイクを歩いて見に行きました。天気はあまり良くありませんでしたが、空気が澄んでいて景色がきれいに湖面に反射していました。1年生の英語の教科書にも載っていて、興味があったので見学できてよかったです。

次にヨセミテ国立公園内を走っているバスに乗り、ところどころ歩きながら見学しました。みんなとたくさん写真を撮り、とても思い出に残る一日になりました。

<感想>

今回のヨセミテ国立公園見学で、アメリカの広大な自然を目にしてとても驚きました。日本では見ることの出来ないような景色は圧巻でした。今回のパロアルト研修でも特に印象深い体験をさせていただいたので、これらの素晴らしさを多くの人達に伝えていきたいです。

答礼パーティー Farewell party

担当：土浦二中

パロアルトでお世話になった
ホストファミリーとのお別れの日…

今までの感謝の気持ちを込めて、
当日の朝の準備もみんなで頑張りました。



私たちが企画したゲーム。
パロアルトの友達もとても楽しんで
くれました！



▲What's this? ゲーム



▲新聞紙ゲーム



いよいよお別れの時。
最後まで笑顔で楽しいものになりました！本当にお世話になりました。

～ 帰国報告会 ～

担当：土浦六中

<派遣生代表あいさつ>

派遣生代表、山口安麻音さんからのあいさつ。
ときどき、笑いが起こりながらもしっかりと帰国報告ができました。



<引率者代表あいさつ>

引率者代表、櫻井奈都子先生より、帰国報告のあいさつがありました。



<派遣生からの土産品贈呈>

市長さんをはじめとする来賓の方々に派遣生から土産品を贈呈しました。



パロアルト市街図



【パロアルト市庁舎】市議会などが入っていて、庁舎前には姉妹都市記念碑があります。



【ルーシースターン・コミュニティセンター】歓迎パーティーや答礼パーティーが行われました。



【ジョーダン中学校】学校訪問を行った中学校で、日本語クラスがあります。



【ミッチェルパーク・コミュニティセンター】図書館などが入っている新しい施設。今回は、ビンゴナイトが行われました。



エル・パロアルト

パロアルト市庁舎

ルーシースターン・コミュニティセンター

至サンフランシスコ

スタンフォードショッピングセンター

パロアルト高校
スタジアム

ジョーダン中学校

フーバータワー
教会
スタンフォード大学



ミッチェルパーク
J L S 中学校

【J L S 中学校】学校訪問を行った中学校で、日本語クラスがあります。



【スタンフォード大学】全米屈指の私立大学です。

ヒューレット・パカード社



【スタンフォード大学美術館】



【スタンフォード大学教会】ステンドグラスが印象的。とても神聖な場所です。

テスラモーターズ社



【スタンフォード大学全景】フーバータワーからの眺め。アメリカらしい見渡す限りの広大なキャンパス。

ガン高校
ターマン中学校
アルタ・メサ記念公園



【テスラモーターズ社】バッテリー式電気自動車で有名。最近では自動運転技術にも取り組んでいます。

サン・アントニオショッピングセンター

至サンノゼ



【ヒューレット・パカード社】パソコンやプリンターなどで世界的に有名です。

～Host Family～

土浦第一中学校 赤羽根 菜月

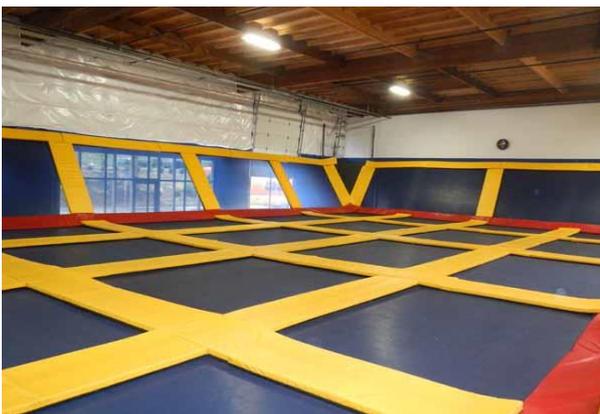


お母さん とても優しい！
おしゃれさんです
お兄さん 元気でおもしろい
お姉さん 美人でやさしい！
Daisy とにかく元気！
スポーツ得意で音楽が好き。
メープル とても crazy な犬！

～Host Day～



クッキングナイトの買出しに行くのに、
日本食のスーパーに連れて行ってもらい
ました。
日本の商品がたくさんあって驚きました。
キットカットが人気だそうです。



トランポリンの施設に行きました。
トランポリンをしながらドッジボールを
したりしてとても楽しかったです。
汗をたくさんかきました！

MY HOST FAMILY

土浦第一中学校 内山 侑海



←Michaela's family

- Buddy** 友達がたくさんいる。
とっても優しい。絵が上手。
- Father** 優しくて、カッコいいお父さん。
日本語で話しかけてくれた。
- Mother** 料理が上手。たくさんのところに
連れて行ってくれた。
- Sister** オシャレで歌が上手。
いろんなことを話してくれた。
- Pet** Mighty という名前の男の子

ダウンタウンではモニター越しに相手と会話することができ、その人の場所の様子を見ることができました。

Apple のお店では今まで体験したことのないゲームをやり、初めて見たものばかり！「未来」に来たような感じがしました。



←Vera's family

- Buddy** 明るくて優しい。
たくさん写真を撮ってくれた。
- Mother** ダンスが上手。
沢山気にかけてくれた。
- Father** 家族思いの優しいお父さん。
- Brother** 恰好いい Buddy のお兄さん。



ダンススクールにて。
大きな鏡の前でみんなで踊りました。
迫力があってとても楽しかったです。

My Host Family

土浦第二中学校 宇都野 光希



Father : いつもいろいろなことに気を遣ってくれたお父さん

Mother : 料理が上手で優しく面白いお母さん

Buddy : 水泳がとても上手で明るく元気な男の子

Sister : シヤイだけど頑張って話しかけてくれる優しい女の子

Host Days



3月12日、アメリカに到着した初日にサンフランシスコに行き、路面電車に乗りました。坂道がとても急でビックリしました。



この日は僕の誕生日だったので、Host Familyがサプライズパーティーをしてくれました。時差の関係で、人生で一番長い誕生日(約40時間)を過ごしました。

8日目、Host Familyと過ごす最終日に「サンタクルーズ・ビーチ・ボードウォーク」という遊園地に連れていってもらいました。



Buddyはジェットコースターを怖がっていたので、2人でゴンドラに乗りました。その後エアホッケーで長時間にわたって真剣に戦いをしながら、さらに交流を深めることができました。



Host Familyの皆さんは和やかで、本当に素晴らしい家族でした。たくさんの楽しい思い出をありがとうございました。

My Host Family

Father

簡単な英語と少しの日本語で私ができるように頑張ってくれた優しいお父さん。

Mother

いつも困っているときはすぐに説明してくれて、とても明るいお母さん。

Brother

ショッピングに連れて行ってきて、可愛いお店を紹介してくれたお兄ちゃん。

Buddy

できる限りの日本語で話してくれて、たくさん気遣いをしてくれたとっても頼もしいバディ！

Host Day



1日目はサンフランシスコへ連れて行ってもらいました。ケーブルカーに乗って街をまわって、色んなお店に入りました。夜ご飯には分厚くて大きなピザを食べさせてもらいました。街並みがとても綺麗でしたが、坂がたくさんあって大変そうだなと思いました。



2日目は Brother と一緒にショッピングをしました。広いショッピングモールに連れて行ってもらうとすごく楽しめました。人気のお店も教えてもらって充実した1日でした。

My host family

土浦第三中学校

館岡 優希



お父さん Chris

ボートを作るのが上手なカッコいいお父さん

お母さん Sharon

日本食を作るのが上手な優しいお母さん

Buddy Max

フェンシングとテニスがうまい元気な男の子

Brother Jack

ダンスができる活発な男の子

Pet(fish) Porkchop 可愛い小さなお魚



Dad's collection



Dad made this boat

Host day



Max の家にあるゴーカートに乗りました！
遊園地でしか見たことがないゴーカート
があっけびっくりしました！

LASER QUEST というシューティングゲーム
ができるアトラクションに連れてって
くれました。

他の外国人とも一緒に遊べて、とても楽し
かったです！！

最終日には、他のホストファミリー
と一緒にビーチに行きました！
ビーチの隣のジェットコースターに
乗りました！！
ジェットコースターは初めてだった
ので良い経験になりました！



~My host family~

土浦第三中学校 山口 安麻音



Buddy 明るくてかわいい！

Dad 面白くて日本語上手！

Mom 優しくしてお茶目！

Host day ♡

初日は、パロアルトのネイルサロンとキャンディーショップに行きました。

二日目は、仏教会、ショッピングモール、和太鼓の演奏、そして、ボウリングに行きました。

最後のホストデイはサンタクルーズのビーチと隣接している「Board Walk」という遊園地に行きました。初ジェットコースター！！

まだまだ海は冷たかったけど、みんなでわいわい楽しかったです。そのあと、アップルストアに行き、サンフランシスコでディナーを食べ、ケーブルカーに乗りました！



この数日間は、人生で一番貴重な時間でした。本当に感謝しています！！

My Host Family

土浦第四中学校 上久保 喜仁



☆家族構成☆

・お父さん(Rollie)

職業・土木技師

とても優しい家族思いの Daddy

ゲームとバスケットボールが上手で特にバスケットに関してはチームコーチをする程の腕前
歌も上手でいつも楽しい話をしてくれました

・お母さん(Joan)

職業・弁護士

笑顔の素敵な家族思いの Mom

料理も上手で毎日の食事が楽しみでした

僕のアメリカでの様子を沢山の写真に撮り日本の家族に知らせてくれました

ママもゲームが上手で Family チームは最強です

・相棒(Quinn)

JLS 中学校の 8 年生(中 2)

けん玉とゲームが上手な僕の Buddy !

数学が得意で頭がいい

日本の文化や食に興味があり、大好物は寿司

・弟くん(Evan)

JLS 中学校の 6 年生(小 6)

バスケットボール、ルービックキューブ、ゲームが上手でスターウォーズが大好き

明るくいつも笑顔一杯な可愛い男の子

家族のムードメーカー



僕のホストファミリーはとても親切な方々で、ホストデイには映画、ボウリング、ショッピングなど、色々な楽しい場所に連れて行ってくれました。言語の壁がある中で Google 翻訳やジェスチャーなどを使ってコミュニケーションをとってくれました。ホームステイで不安なく充実した毎日を過ごせたのは Arbolante family のおかげです。

本当にありがとう！最高の家族です！！



MY HOST FAMILY

土浦第四中学校 篠原 さら

David→ わかりやすい英語でしゃべってくれる家族思いで優しいパパ。

Tmalin→ いつも私のことを気にかけてくれるパワフルなママ。

Anali→ サッカーとおしゃべりが大好きでスタイル抜群な私のバディ。

Dane→ とにかくスターウォーズにはまっているやんちゃな弟。

Chara・Chiro→ Santos 家のペットの猫ちゃん。
すごくかわかったw



HOST DAY

最初のホストデイは、午前中にネイルサロンに連れて行ってもらいました。本格的なサロンだったので、急に大人になった気分でしたwww

午後からはサッカー観戦に連れて行ってもらいました。スタジアムは熱気で溢れていました。



ディナーにはハンバーガーを食べ、THE アメリカという1日でした。



最終日には海に遊びに行き、夜には Anali の友達とそのバディとお泊まり会をしました。夜遅くまでおしゃべりをし、今日で皆とお別れかと思うと少し寂しい気持ちになりました。今回のホームステイでSantos 家にはたくさんの経験をさせてもらって本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

また機会があれば遊びに行こうと思います！

Thank you!!!!!!!!!!



My Host Family

土浦第五中学校 河崎 千夏

Father 日本語が上手な明るい優しいお父さん！
Mother アートの仕事をしている優しいお母さん。
家には絵がたくさん飾ってあった！
Loeline 明るくて元気な私のバディ。歌を歌うのが上手な女の子。
Juliette ダンスが上手でよくしゃべるバディの妹。

Host Day

一日目



ウォルトディズニーミュージアムに行ってきました。
中には、ディズニーランドのミニチュアのようなものが置いてあったり、アニメの原稿や、グッズなどが展示してありました。そのあとは、スターバックスに行きました。日本と違って店が小さかったと思います。

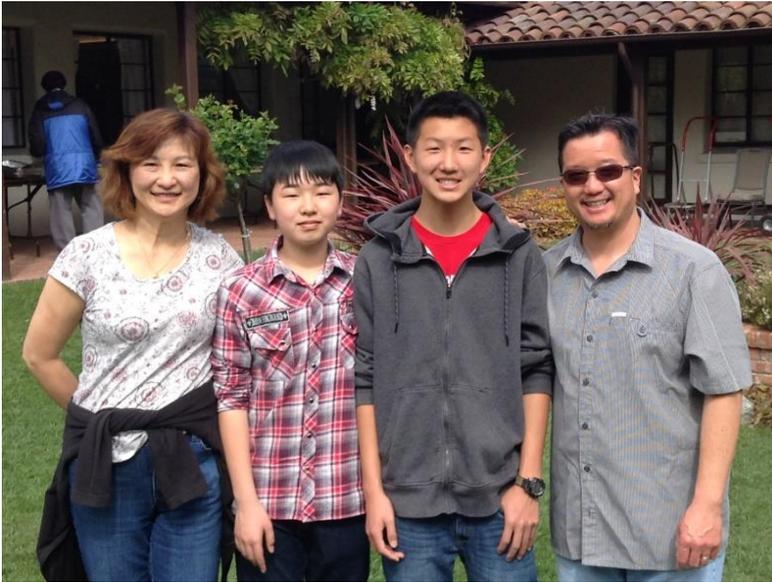
二日目

Santa Cruz Beach の遊園地に行きました！遊園地のアトラクションは、絶叫系が多くて、とても楽しかったです！！特にジェットコースターは、コースが長く、とても楽しかったです。お昼ごはんはホットドッグとMサイズのレモネードを飲みました。アメリカのMサイズは日本のLサイズよりも大きかったです！そのあとにビーチに出て、海で遊びました。スカートがびしょびしょになって寒かったけど、楽しかったです！！



～My Host Family～

土浦第六中学校 鈴木 直也



Wilfred (father) 一番右
とても気づかってくれた
家族思いなお父さん。

Riley (buddy) 右から二番目
日本語がとても上手。
優しい。

Sophie (mother) 一番左
色々な事を教えてくれた。

Bryan (brother) 不在
ゲームがとても上手い。

Kuma (pet) この日は留守番
とてもかわいい。

Cooking night

僕はあまり料理が得意では無いので、
カレーライスを作りました。
とても美味しそうに食べてくれました。



たくさんの思い出ありがとうございました。

Host day

色々な所に連れて行ってもら
いましたが Riley と一緒に映
画を見に行ったのがとても良
かったです。



~My host Family ~



Father ... Marty

仕事で忙しくても、家族思いなお父さん♪

Mother ... Qing

料理上手でいつも気遣ってくれたお母さん♪

Buddy ... Erin

日本語が大好きで、とても優しいバディ♪

Sister ... Arwyn

絵を描くのが上手でいつも元気な Erin の妹♪



~ Host days ~

12 th & 13 th

2日続けてショッピングに行きました！

13日は、ホストファミリーの友達家族と会って皆で一緒に遊びました。



19 th

Santa Cruz という海に行きました！

バディと一緒に砂浜を歩いたり近くのテーマパークでジェットコースターに乗ったりしました。1日に2つもアイスを食べ、さらに夜は近くにあるおいしいシーフードのお店で大きいサンドイッチを食べました。

**Thank you,
my host family!!**



MY HOST FAMILY

都和中学校 渡邊 悠



Mom DD Roberts

色々な事を教えてくれる優しい母さん

Dad David Beaudry

料理が上手いおもしろいお父さん

Brother Alex Beaudry

大学で美術を学ぶかっこいいお兄さん

Brother Ben Beaudry

いっしょに遊んでくれた楽しいお兄さん

Buddy Conner Beaudry

いつも優しく接してくれたいいバディ

~HOST DAY~

3/12

1日目はサンフランシスコでケーブルカーに乗せてもらいました。移動した先で、ショッピングをしました。生憎の雨でしたがここではじめてアメリカの街中を散歩しました。町並みもとってもおしゃれで、日本とは全然違うなあと思いました。そして、立ち寄ったお店でチョコを買ってくれました。そのお店の中にチョコレートを作る機械があっぴびっくりしました。



3/19

2日目はサンタクルーズの遊園地に連れて行ってもらいました。その遊園地は海と隣接していてとってもキレイでした！ジェットコースターなどいろいろなアトラクションにりましたが、アメリカは日本と一味ちがってこわかったです。そしてその夜には寿司屋さんに連れて行ってもらいました。日本人の方がいて、なんだかほっとしました。変わらない味でとてもおいしかったです。



My host family

都和中学校 星 梨々花



- Amelia** 料理が好きで、バイオリンや水泳が上手な私のバディ
- Giorgio** いつも優しく話しかけてくれたお父さん
- Akiko** 困ったことがあるといつも助けてくれたお母さん
- Oscar** 日本語とバレエが上手で優しいお兄さん
- Maia** ユニークでおちゃめな可愛いお姉さん
- Ios** 人懐っこくて散歩が大好きなペット(犬)
- Momo&Kik** かわいい love birds

Host day

3/12 まずホストファミリーの家を案内してもらってからスタンフォードのショッピングモールに連れて行ってもらいました。夕食はAmeliaおすすめのハンバーガーのお店で食べました。とってもおいしかったです！

3/13 この日は雨が降っていたので屋内でも楽しめるExploratoriumという科学博物館とモダンバレエのコンサートに連れて行ってもらいました。また、近くにあったベイブリッジを渡ることも出来ました。帰りにはFacebookの本社へ寄って写真を撮りました。家に帰ってから、家族全員でボードゲームをしました。とても良い1日になりました。

3/14 学校から帰ってパロアルトの市議会に行った後、夕食を食べにメキシコ料理のお店に連れて行ってもらいました。アボカドの料理や、デザートがとってもおいしかったです。

3/19 Ameliaの友達の家遊びに行ってから海へ行き、そのあと遊園地へ行きました。海に行ったときに、Ameliaのお父さんから「この海の向こうに日本があるんだよ。」と言われて、なんだか不思議な感じがしました。遊園地では、絶叫系のアトラクションにたくさん乗りました。ほんとうに怖かった…。でも良い思い出になりました。



Thank you, Amelia's family!!

My Host Family

新治中学校 稲見 悠



Mark:仕事も家事もできるかっこいいお父さん
Kim:常に気にかけてくれる笑顔が素敵なお母さん
Gill:おしゃれで友達がたくさんいるお姉ちゃん
Will:レストランで私の分も注文してくれる優しいお兄ちゃん
Krista:パワフルでスポーツが大好きなバディ

☆Host Day☆

Sky High Sports



初日の Host Day には、なつき&Daisy とトランポリンセンターのような所に行きました。全力で跳んで、跳んで、跳んで…ドッチボールをやったり、ダイブしたり、とっても楽しかったです！

Cooking Night



普通のアメリカのスーパーで食材を買ったため、カレーうどんが謎の物体になってしまいました(泣)
何とも言えない味なのにみんなおいしいと言ってくれるなんて…

Krista が来日したときにリベンジしようと思います!!

お泊り会



最終日には左の写真のメンバーでお泊り会をしました！ショッピングをしたり、海に行ったりしました。夜には、国境を越えた恋バナで盛り上がりました♪

たくさんの思い出をありがとう!!

~My Host Family~



お父さん Yafei

優しくて家族おもいなパパ。
車の運転ありがとう。

お母さん Hongbo

いつも笑顔で優しいママ。
たくさん面倒を見てくれた。

Buddy Angela

穏やかで素敵な女の子。日本語が
上手！

~Host Day~

1日目

★午前中は映画館へ行き、カンフーパーンダ3を観ました。

時差ぼけのせいで寝てしまったのはナイショ《笑》

★午後はCooking Nightで肉じゃが作り。

日本で何度か練習したおかげで上手に出来ました。

Angelaもおかわりしてくれて大成功！

久しぶりの
日本食！



2日目

★朝からサンフランシスコの遊園地へ。

ビーチと遊園地が合体していて、とても楽し
かった。

最後は手にペインティングしてもらいました。

…これがなかなか落ちなかった。

他にもAppleで食事をしたり、Googleや
Facebook本社を見に行ったりしました。



Angelaと。
面白かったなあ…。



Angela、パパ、ママ 楽しい思い出をどうもありがとう ♪♪♪

パロアルト派遣を通して感じたこと

土浦第一中学校 赤羽根 菜月

私がこのパロアルト派遣に参加して印象的だったこと、一つ目はアメリカ人がとても親切で優しいということです。空港で英語をすぐに聞き取れなかった私に税関の方はゆっくりと話してくれました。それからホストファミリーの方も私が聞き取りやすいように、いつもゆっくりはっきり喋るように心がけてくれました。パロアルトの中学校で授業を受けるとき、自己紹介で上手く喋れなかったけど、そのクラスのみんなは大きな拍手で迎えてくれました。

授業が英語であまり理解できなかった私が暇にならないように時々バディのデイジーは話しかけてくれました。

二つ目は食文化の違いです。日本では生徒は給食がでることが多いと思います。でも私が行った学校では給食はなくお弁当の生徒が多かったです。それに、しっかり食べる日本人に対して、サラダしか食べなかったり、スナックタイムのときのお菓子だけとかいう生徒ばかりで驚きました。学校で携帯を使ったり休み時間になったらみんなでボリボリとお菓子やパンを食べたりしていて、アメリカって自由だと実感しました。

三つ目はアメリカ人のフレンドリーさです。日本の生徒が恥ずかしそうにしているときアメリカの生徒は「Hi！」と話しかけてくれました。学校でも名前を覚えてくれた人は遠くからでも「Natsuki〜〜〜！」と呼んでくれて嬉しかったです。パロアルトの人たちのように国など気にせず誰とでもすぐに打ち解けられるフレンドリーな関係を日本でも築けたらよいなと思いました。

後半の生活では、英語にも少し慣れ聞き取れるようにはなれました。せっかく仲良くなったホストとの別れはとても悲しかったです。でもこれからの生活に生かしていきたいと思います。

最後に、今までの人生の中で一番幸せで充実した11日間を過ごすことができました。両親、そしてこの事業に携わっていただいた市役所の方々、パロアルトの方々に感謝します。

ありがとうございました。

パロアルト派遣を通して感じたこと

土浦第一中学校 内山 侑海

パロアルトで過ごした10日間は、言葉が十分に通じず大変なこともたくさんありましたが、とても楽しく、そして充実した10日間でした。今回のパロアルト派遣の私の目的は、アメリカの文化、マナーを学ぶこと、そして積極的に英語で会話することでした。英語が得意ではない私なりにですが、その目標を果たすことができたと思います。

やはり本場。アメリカの街を歩いているとあちらこちらにバスケットゴールを見かけます。殆どのレストランでもTVでバスケットボールの試合を見ることができます。私の通っていたJLS中学校では外にバスケットコートが3コートもあって朝からシュートを打っている人が沢山いました。バディの妹の小学校でも同じで、小さい子が高いゴールに向かってボールを投げている姿はとても印象的でした。日本ではあまり有名なスポーツではありませんが、アメリカでは日本でいうサッカーや野球のようにメジャーなスポーツなのだと感じました。そしてそのバスケットボールと同じくらいみんながよくやっていたものは「けん玉」でした。中学校ではどこを見てもけん玉をやっている人がいて、みんなとても上手でした。ショッピングセンターにもけん玉のお店があって、その周りでは沢山の人がけん玉を楽しんでいました。

Michaelaはスポーツやけん玉は苦手とっていましたが、絵を描くのが上手でよくスケッチブックを持ち歩いていました。アメリカではそれぞれが自分の「好きなもの、好きなこと」を持っていました。そして「好きなもの」が違う人同士でも集まってたくさん話していました。アメリカでは一人になる人がいませんでした。そしてみんながフレンドリーで、あまり英語の話せない私にもたくさん話しかけてくれました。私はそんなアメリカの雰囲気大好きです。

答礼パーティーが終わりホストファミリーと別れる時間が来てしまったときはホストファミリーと過ごした沢山の時間が思い出され、とても寂しい気持ちになりました。サンフランシスコではほかの中学校の人と仲良くなることができました。このパロアルト派遣でアメリカだけではなく、日本の友達も出来ました。6月にアメリカから日本へ来たときは、感謝の気持ちを込めて精一杯おもてなし出来るようにします。そして、少しでも日本の「良さ」を伝えられるよう努力します。

最後にこのような貴重な体験をさせてくださった土浦市長さんをはじめ、国際交流協会の皆さん、市役所の方々、そして先生方、本当に有難うございました。この11日間で学んだことを忘れず、これからの生活がもっと充実したものとなるよう、一日一日を大切にしていきたいと思います。

パロアルト派遣を通して感じたこと

土浦第二中学校 宇都野 光希

僕は一人で旅行をしたことがありません。最初にアメリカに着いた時は「現地での英語が聞き取れるか」「うまく話が伝えられるのか」など、不安が一杯でした。そんな気持ちでいると、見知らぬ人から「Welcome to America!」と笑顔で声をかけられました。すべてのアメリカ人が優しく感じられ、「アメリカっていいところだな!」と嬉しく思いました。

日本からの飛行時間が9時間以上と長かったこともあり、パロアルト市に着いた時には、疲れており「やっと着いた!」と感じていました。歓迎パーティーでホストファミリーと対面した時には、バディのお母さんが僕の体調を心配してくれたり重い荷物を運んでくれたりと、すごく優しくしてくれました。家族の温かい気づかいの中で、すぐに打ち解けることができ仲良くなりました。

ホストファミリーは、僕のためにいろいろな飲食店に連れて行ってくれたので、日本にはない食文化に触れることができました。例えばスポーツ観戦をしながら食事をするお店が多いことや、1人分の食べ物や飲み物の量にもものすごくボリュームがあったことです。ハンバーガーは日本の2倍ぐらいあり、スターバックスのコーヒーもかなり大きく、「日本でもアメリカぐらいのサイズを出してくれれば、満足感が味わえるのになあ」と思いました。バディのお父さんは、「洗濯は1週間に2回ぐらいまとめて行う」ことや「風呂は毎日シャワーで済ませている」ことのほか、普段の生活についていろいろ話をしてくれました。日本との生活様式の違いなどを新鮮な気持ちで比較することができ、たいへん参考になりました。

アメリカの学校では、授業を受けていて分からないことがあると、周りの人が片言の日本語で気軽に話しかけて教えてくれたり、パソコンの翻訳機能を使ってわかりやすく説明をしてくれたりするなど、みんなフレンドリーでした。時には冗談を言って僕を笑わせてくれるなど、クラスメイトの優しさには毎日助けられました。

ホームステイ5日目の夜には、ホストファミリーの家の人に日本の料理を作ってあげる「クッキングナイト」という企画がありました。野菜を多めに入れた「焼きそば」は、家で作るより上手にでき、みんなが「おいしい!」と言いながらたくさん食べてくれました。翌日もバディのお弁当に焼きそばを持っていってくれるほど好評で、とても嬉しく感じました。

今回の研修で、自分の思ったことを英語で伝えることはなかなか難しいと実感しました。また、英語でコミュニケーション取ることがとても楽しく、とても大切であることも学びました。これからパロアルト市で経験したことを生かして、もっともっと英語を勉強して、会話力を磨いていきたいです。今回お世話になったホストファミリーにもう一度会いに行くためにも、英語力をアップさせるよう努力していきたいです。この経験は、僕の中学校生活の大切な思い出であり宝物となりました。

このような機会を与えてくださった土浦市役所の皆様、土浦市国際交流協会の皆様、滞在期間中いつも気を使ってくれたホストファミリー、パロアルト市の皆様、快く送り出してくれた両親に感謝しています。本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通して感じたこと

土浦第二中学校 遠藤 蘭

私はアメリカに出発するまで不安な気持ちばかりがありました。

今まで自分が勉強してきた英語は本当に通じるものなのか。そして聞き取ることにはできるのだろうか。もしコミュニケーションがとれずに終わってしまったら何を学んできたらいいのだろうか。しかしこんな不安をなくしてくれたのは土浦市内の中学生のみんなでした。一緒に話していてとても楽しくてこれなら頑張れると思わせてくれました。アメリカに着いてからも支えられてばかりでした。サンフランシスコやスタンフォード大学見学で充実した思い出を作れたのは、みんなのおかげだと思います。そんなみんなと離れホストファミリーのもとへ向かうと、優しい人たちが出迎えてくれて、本当に安心しました。私の英語力不足でわからない単語や、どうやって言っているかわからないことがすごくありました。だけどホストファミリーは一生懸命私の話を聞いて理解してくれようとしていました。こんなに優しくて温かいホストファミリーやバディのアメリアと出会えて本当によかったです。そして私が訪問した先々でもたくさんの優しさを感じることができました。

JLS 中学校では私たち派遣生と一緒にお昼を食べたり、授業を受けたり、挨拶をしてくれたりする生徒たち。日本語クラスでは、知っている日本語の単語で話しかけてくれる人たちもいて授業中も楽しめました。

ショッピングに行った時も、店員さんがおすすめの商品を持ってきてくれて欲しいものを満足に買うことができました。

このほかにも優しさを感じる場面が多々ありました。でもみんなそれを当たり前のようにはやっていた。それは本当にアメリカの人たちが優しいからだと思います。このことはコミュニケーションをとることで知ることができました。

しかし、あの時どうすればもっとよくできたのか。そう思う場面もありました。自分の英語力、判断力の低さに改めて気づかされた気がします。これは日本にいたら気づけなかったことだと思うので、よい経験としてこれからは生かしていきたいと思います。そしてこれからもっと英語の勉強に励み、いつかまたアメリカへ訪問できるようになりたいです。

最後に、土浦市内の中学生のみなさん、私を受け入れてくれたホストファミリー、そして「パロアルト派遣」という素晴らしい機会を私に与えてくださったみなさんに感謝をしてこれからの自分にプラスになるように頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通して感じたこと

土浦第三中学校 館岡 優希

今回のパロアルト派遣は、自分にとって日本以外の文化、習慣の違う国を自分の目で見たこと、ホストファミリー宅で実際に生活できたことは、11日間と短い期間でしたが、毎日充実していてとても良い経験になりました。

僕がこの交換交流事業に参加した理由は、英語力を高めたいという理由と、今の自分の英語がアメリカでどこまで通じてコミュニケーションが取れるかどうかを確かめるために参加しました。

僕はアメリカに行って様々な体験をすることができました。特に印象に残ったのが学校です。訪問した JLS 中学校は教室も校庭も日本と比べものにならないくらいとても広く、日本の学校はクラスでほとんどの授業を受けるのに対し、アメリカの学校は、授業が終わると移動授業のように生徒がほかの教室に毎回移動して授業を受けます。全ての教室には電子黒板が設置されていて「すごいなあ」と思いました。アメリカの生徒はとてもフレンドリーで、積極的に話しかけてくれてとても楽しかったです。

ホストファミリーの方々は、とても優しく、日本が大好きな人たちでした。

生活面では、日本とアメリカの文化の違いが見られ、お風呂はなくシャワーだけ、食事の量は多かったです、とても美味しかったです。Buddy の Max と Max の弟の Jack とは、一緒にゴーカートやビーチにある遊園地のジェットコースターに乗ったり、様々なことをみんなでやりました。僕がホストデイなどで楽しめるように計画してくれた Max のお父さん、お母さんにはとても感謝しています。

このパロアルト派遣を通して、アメリカの大きさ、素晴らしさ、自分の英語力の足りなさについて良く分かりました。アメリカに行く前までは、ALT の先生や、英語の先生と英語で話すとき、ジェスチャーを使ったり、単語が出てこないで言葉に詰まったりすることが多々ありました。実際にアメリカに行くと、自分の英語力とジェスチャーだけじゃ伝わらない場面もたくさんありましたが、アメリカの方々は皆とても優しく自分が話したいことを理解しようと努力してくれてとても助かりました。

パロアルト派遣での様々な体験を生かして、これからもっともっと自分の英語能力を高めていきたいです。本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通して感じたこと

土浦第三中学校 山口 安麻音

私は今回のパロアルト派遣で、たくさんの事を学ぶことが出来ました。最初は、やっぱり文化や習慣、言葉の違いに驚きました。例えば、挨拶や、当たり前ですが、標識などがすべて英語で書かれていたのにも驚きました！！そして、アメリカはとても気さくな方が多く、積極的に声をかけて下さいました。

この11日間のなかで、たくさんの場所にも行けました。パロアルトの町のネイルサロンやショッピングモール、そして、大迫力のヨセミテ国立公園！！そこで、わたしは、アメリカの、街の人々のつながりや、スケールが大きい自然に触れることが出来ました！！

この経験は、日本では中々体験できないことです。

今回のパロアルト派遣を通じて学んだ事、感じた事、そして、アメリカの良さを日本に、日本の良さを世界へと、伝えて行きたいです。

最後に、今回のパロアルト派遣は、本当に充実した11日間でした。この様な機会を与えて下さった皆様に心から感謝いたします。

本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通して感じたこと

土浦第四中学校 上久保 喜仁

私は、今回パロアルト市に行き沢山の文化の違いや生活を学ぶことが出来ました。研修では、様々な場所に行かせていただきました。世界遺産ヨセミテ国立公園をはじめ、日本とは比べものにならない様なとても大きいショッピングモール、世界的企業のアップル本社や Google 本社、料金所がない高速道路、日本とは雰囲気が全く違う JLS 中学校など…。

これらの様々な場所を訪問しアメリカの方々と触れ合う中で特に印象深く心に残った事は二つあります。

一つ目は、パロアルト市の中学校(JLS 中学校)で感じたことです。アメリカの中学生は、私が思っていたよりもフレンドリーで親切でした。例えば彼らは、私達が困っていると積極的に話しかけ助けてくれました。“ What is this? ” (これはなに?)と質問すると、一生懸命考え、言葉の不自由な私達に出来るだけ分かり易く日本語を交えながら答えてくれました。この経験を通して私は、日本人の学生も言葉の違いに臆することなくもっと積極的に行動したほうが良いと思いました。

二つ目は、アメリカ人が驚くほど、日本のアニメ・マンガが好きな事です。ショッピングモールには「トウキョウショップ」という店があり、日本のアニメグッズが数多く売られていました。音声は日本語のままでしたが、英語の字幕がつき、外国人にもわかるように日本のアニメが沢山放送されていました。JLS 中学校での日本についての質問では、アニメのことが一番多かったです。「マンガ」「アニメ」は世界に誇れる日本の文化であると海外を訪れて私は改めて強く感じました。

私はこれら以外にも沢山の事を学び、感じました。パロアルト研修で私の世界観は180度変わりました。パロアルト研修に参加することができ本当に良かったです。今回学んだことを大切にしてこれからの生活や将来の目標に活かしたいと思います。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通して感じたこと

土浦第四中学校 篠原 さら

私は今回のパロアルト派遣でたくさんのことを感じ、学びました。

一つはアメリカの技術の進歩です。日本でも、私たちの身の周りには多くの便利な機械が存在しますが、パロアルトはシリコンバレーに属しているということもあり、日本よりさらに進んだ機能のある機械を目にすることができました。私が特に驚いたのはショッピングセンターのパソコンなどを売っているフロアです。例えば透明なキーボードや高音質のヘッドホンなど、どれも斬新なアイデアが詰まっていて見るだけでもワクワクしました。Apple store もとても広く日本では見たことのないような商品もあって良い刺激になりました。

もう一つはコミュニケーションの大切さです。言語も違う、文化も違うアメリカという場所での生活は、最初は不安が大きかったです。日本で学んだ自分の英語力で通用するのだろうか、ホストファミリーに迷惑をかけてしまったらどうしよう、などと日本にいるときから考えていました。ホストファミリーと過ごしたり、現地の学校を訪問したりしているうちにだんだんと会話のコツをつかんでいくことができました。難しい英語を使わなくても、ジェスチャーと会話がしたいと思う気持ちがあればなんとかなる！！身をもって感じました。初めての環境だからといって緊張して一人であるよりも、自分を試す気持ちで積極的にコミュニケーションをとることが大切だということに気付いて良かったです。

今回の経験で最も英語に触れるチャンスが多かったのは学校です。教室は外から出入りするようになっていて日本の学校にはない開放感がありました。バディと一緒にいると、色々な人が言語の壁を気にせずに気軽に話しかけてくれました。授業風景は生徒達がどんどん発言をする姿が見られました。疑問があればすぐに質問をし、先生も丁寧に対応していて学習のしがいがある授業だなと思いました。また校則が緩いのは、生徒一人一人が学習をしにきているという自覚と「やるときはやる、楽しむときは思いっきり楽しむ」というメリハリを持っているからなんだと感心し、私もこれらを意識しながら日本での学校生活を送っていこうと思いました。

この経験を通してアメリカにはアメリカの良さ、日本には日本の良さがあることに改めて気付きました。私は、これから日本が成長していくには技術面だけでなく生活の面でも外国の良さを吸収していくことが必要だと思います。そのための一番の近道は実際に外国を訪れ、体験することだと思います。だから私はこの事業に参加できて本当に嬉しいです。この経験を生かし、周りの人たちにも伝え、私たちの世代でこの社会をより良くしていきたいです。

最後にパロアルト派遣に携わってくださった市役所の方々、たくさんの経験をさせてくださったホストファミリー、そして両親に感謝の気持ちを伝えたいです。

本当にありがとうございました。

Thank you!!!!!!!!!!

パロアルト派遣を通して感じたこと

土浦第五中学校 河崎 千夏

私は、この派遣を通して、いろいろなことを学び、感じ、一生の思い出に残る深い経験ができました。そんな中で私が特に感じたことが二つあります。

一つ目は、自分が思っているよりも「英語を話すことができない」ということでした。私は、小学校のころから英会話を習っていたので、アメリカに行っても大丈夫だろうという気持ちがありました。しかし、アメリカでの会話は聞き取ることはできても、言葉を返す簡単な英文でさえも、頭になかなか浮かんでこないということが多くあり、自分の英会話力のなさを痛感しました。だからもし、またアメリカに行くチャンスが来るとしたら、もっと英会話を勉強して、会話をもっとできるようになりたいです。

二つ目は、アメリカで学校に行った時のことです。私が行った Jordan 中学校では、まず授業のスタイルから日本と違っていて、驚いたのを覚えています。Jordan 中学校では、自分のやりたい教科の選択になっていました。日本では教室がありますがアメリカでは毎時間ごとに教室まで移動していました。給食がなかったりブランチというお菓子タイムがあったりと、違うところがたくさんありました。そして私が一番うれしかったことは、学校でいろんな生徒や先生が話しかけてくれたことでした。翻訳をわざわざ使って「Hello!」「Hi! How are you?」など、簡単な会話をしてくれたことが、私にはとてもうれしかったです。

また、ホストファミリーも、まだ環境に慣れていない私に、本当の家族のようにやさしく接してくれました。お父さんは、わかりやすいように、カタコトの日本語で話してくれたり、お母さんもいろいろな所に連れて行ってくれたりしました。妹の Juliette も、いっしょに映画を見たり、私に気軽にしゃべりかけてきてくれたりしたことが何より心の支えになってくれました。そして、バディの Loeline は、一番お世話になった人です。いっしょに学校に行き、映画を見て、ショッピングをして、一緒に遊園地にも行きました。アメリカでこんなにいい思い出ができたのは、Loeline とホストファミリーのおかげです。本当にありがとう！

最後に、私はこの派遣に参加して、本当によかったと心から思っています。そして、このアメリカで気づいたことは、どれも日本にはないものが多かったと思います。だから、日本ももっとアメリカを見習うべきだと思います。

この交換交流事業に携わっていただいた方々、ホストファミリーのみんな、この交流事業に参加した土浦市内の中学生や先生など、たくさんの方々にお礼を言いたいです。本当にありがとうございました。

私はこの経験を活かして、将来は海外のことも視野に入れ、日々頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通して感じたこと

土浦第六中学校 鈴木 直也

僕はこの交換交流事業で多くの貴重な体験をしました。毎日が新鮮で充実した11日間でした。

学校生活では日本と違うところがいっぱいありました。学校には、一人ずつロッカーがあります。朝学校に着くとロッカーにバッグを置いて授業の用意を持って教室に行きます。毎時間教室を移動します。授業ではタブレットを使うことがあります。さすがシリコンバレーで最先端なものを使っていると思いました。日本では部活があり多くの生徒が入部していますが、アメリカにはなくてビックリしました。このようなアメリカでの中学校生活をおくれたことは最初で最高の貴重な体験でした。

ホストファミリーの人は、僕を客人ではなく家族としてむかえてくれました。それがとてもうれしかったです。

日本の学校で習う英語とアメリカで話す英語はまったく違いました。そんなことは行く前から知っていましたが、とても大変でした。ですがその分、通じたときはとてもうれしかったです。次に行くときは、アメリカでちゃんと通じる英語を話せるようになって行きたいです。そしてバディに会いに行きたいです。

答礼パーティーが終わってホストファミリーと別れ、バスに乗り込んだ時にはまだもっとパロアルトにいたいと思いました。

サンフランシスコでは、ゴールデンゲートブリッジを見たりフィッシャーマンズワーフに行ったりしました。その日は雨でしたがとてもきれいでした。

ヨセミテ国立公園は中学生で見てもいいのかというくらい、美しかったです。大人になったらまた行きたいと思います。また他の学校の生徒達と仲良くできて良かったです。

空港で飛行機に乗るときアメリカにもっといたいと思いました。飛行機ではアメリカでの日々を振り返りました。長いようで短い11日間でした。とてもいい体験だったと思います。

日本に帰って来てから「行く前となんか変わったね」と言われたりしました。アメリカに行ったことで僕自身の中の何かが変わったのだと思います。

この様なすばらしい機会を与えて下さった市役所の皆さま、本当にありがとうございました。この経験をこれからの人生にいかしていきたいです。

パロアルト派遣を通して感じたこと

土浦第六中学校 坂井 遥香

パロアルトで過ごした10日間という日々は、自分に自信を持たせてくれる素晴らしいものでした。私がこの事業に参加した理由は、日本とは違う文化を学び、触れ、少しでも将来のためになることを見つけるためでした。この10日間で私は、想像していたもの以上のことを学ぶことができました。

パロアルトに到着するまでは、自分の英語が通じるのだろうかという緊張と不安でいっぱいでした。しかし、初対面の時に現地の方々が見せてくれた笑顔が私の緊張と不安をほぐしてくれました。歓迎パーティーでは、色んな人が話しかけてくださり、とても嬉しかったことを今でも覚えています。

学校生活は、日本との違いにとっても印象深いものがありました。中でも私にとって一番印象に残ったことは、生徒が学年に関係なく一緒に授業を受けていたことでした。学年に関係なく一緒に授業を受けることで、年の違いから生まれる考えもあるのではないかと私は思いました。また、自分が受けたい授業を選択できることにも驚きました。生徒は、毎時間教室を移動するため受ける教科によってクラスメイトが違います。そのため、全校生徒のほとんどが友達というようでした。アメリカの人がとてもフレンドリーであることを感じ、日本人もこのような人が増えればいいなと思いました。

私は、答礼パーティーで司会を務めました。台本を見た時は知らない単語がたくさんあり、練習の時からつまずいてばかりで上手くいきませんでした。パーティーが始まる直前まで何度も何度も発音して練習していましたが、本番ではやっぱり何度か失敗してしまいました。しかし、たくさんの人が「Very good!!」とわざわざ言いに来てくださいました。その時感じた大きな達成感は、その場その時でしか得られない大切なものです。

来月6月には私のバディ Erin が来ます。その時は、私がアメリカで体験したものよりももっと素晴らしいものを体験させてあげたいと思います。そして、少しでも土浦の良さ、日本の良さを知ってもらいたいと思います。

最後に、たくさんの人との出会いに感謝します。

学校に行く日はお昼ご飯を持たせてくれていつでも笑顔で優しく接して下さった host mother、家族を本当に大切にしている host father、わからないことがあると簡単な英語で教えてくれた sister、そしていつも一緒にいてたくさんお話をしてくれた大好きなバディ Erin。JLS 中学校の先生方、クラスメイトの皆。アメリカで過ごした日々を素敵なものにして下さった方々、本当にありがとうございました。

また、学校の代表、土浦の代表として派遣させてくださりあたたかく見送って下さった土浦第六中学校の先生方、土浦市役所の皆さん、両親、友達。

この「土浦市中学生交換交流事業」に関わって下さったたくさんの方々のおかげで私はかけがえのないものを得られることができました。

パロアルトで学んだたくさんの方のことを、私は必ず将来に繋げます。

本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通して感じたこと

都和中学校 渡邊 悠

私は今回のパロアルト派遣で様々なことを学び、素晴らしい経験ができたと思います。見る物すべてが日本とは異なる文化のもので、アメリカというそのものに、驚きました。

その中でも記憶に強く残ったことは学校での生活です。アメリカの学校はとにかく自由です。髪の色、服装、持ち物など日本の学校とは違いなんでもOKです。それで学校は大丈夫なのだろうかとは思いましたが、授業の様子をみて納得しました。先生が話している時は静かにし、そのほかの時はみんな意見を交換し合っていました。日本の学校よりも授業態度が素晴らしかったです。みんながそういったマナーなどが守れているから大丈夫なのだと思います。さらに、さまざまな人種の人がいるのも理由の一つだと思います。人種の違いや宗教の違いなどを尊重し、ここまでの事をしているのだと思います。私もこれを見習い、マナーを守ることや、人種、宗教の尊重などをこれからのグローバルな社会に向けて身につけていきたいです。

他にも経験してきたことがあります。それは英語でのコミュニケーションです。英語での会話はとても不安でした。はじめてホストの方に会った時にはなんとか話すことができましたが、これからが不安でした。ただ数日間英語を聞き、なんとか伝えているうちになんとなくわかってくるようになりました。しっかり聞きとれて理解できた時の喜びは今でも忘れません。自分から話しかける時も身振り手振りで表現したり、時には電子辞書を使ったりして上手く伝えることができるようになっていました。ただしそれは自分の力だけではまだ何が言いたいかわかることが難しいということも示しているので、自分の勉強不足を痛感しました。これからは英語が話せないと不便な時代になっていくと思います。そのときのためにも、本場の英語と会話した経験を活かして、英語で自分の意思を伝えきれるだけの力をつけていきたいです。

私は今回の派遣の目標を「アメリカの異文化を学ぶこと」、「英語でのコミュニケーションをしていくこと」の二つを定めていました。自分自身ではこれらをどちらも達成できたと思います。世界を学ぶことで、文化の多様性とそれぞれのいいところを見つけられたし、日本の良さも再確認することができました。

この素晴らしい経験をこれからの糧にしていきたいです。

このような機会を与えてくれたパロアルトの皆様、土浦の皆様、本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通して感じたこと

都和中学校 星 梨々花

私は、今回のパロアルトへの派遣事業を通して沢山のことを学び、体験することが出来ました。

中でも、1番記憶に残っているのが日本とアメリカの学校の違いです。学級がなかったり、2時間目と3時間目の間に「ブランチ」と呼ばれるおやつの時間があったり…。髪を染めている人や、ピアスをしている人もいました。日本とアメリカの学校を比べると、全体的にアメリカの学校の方が自由だな、と思いました。しかし、そんな自由な環境の中でも授業に対する意欲は高く、とても驚きました。どの授業でも、多くの生徒が積極的に質問し、分からないところなどを教えあったりしているところが印象的でした。また、授業で1人1台ずつタブレットが配られ、タブレットを使って学んだり、美術ではコンピューターを使った作品の制作が行われていたり、シリコンバレーに位置するパロアルトならではの良さも学ぶことが出来ました。

他にも、日本とアメリカの学校の違いについて、たくさん知ることが出来ました。

また、今回渡米したことでアメリカの生活を肌で感じる事が出来ました。看板が全て英語で書かれたものだったり、ハンバーガーがとても大きかったりなど、今まで映画やテレビなどでしか見ることができなかったアメリカの生活は、とても新鮮なものでした。

今回の派遣で、言語の壁というものも実感しました。自分が伝えたいことがなかなか伝えられないことや、相手が自分に伝えようとしてくれているのに分からない事のもどかしさ。言葉が伝わらないということで、こんなにも生活に影響が出るのかと、自分の英語力の無さを痛感しました。

しかし、そんな私のことを快く受け入れて、いつも優しく接して下さった Amelia をはじめとする Lagna Family の皆さん。そして、今回このような体験をさせて下さった方々には、心から感謝しています。皆様のお陰で、普段、学校の授業や教科書を通しては学ぶことができないような貴重な体験をすることが出来ました。

本当にありがとうございました。

この11日間の体験を、これからの生活や将来に役立てていきたいと思えます。

パロアルト派遣を通して感じたこと

新治中学校 稲見 悠

たった11日間という短い時間の中で、一生のうちでも五本の指に入るくらいの貴重な体験をすることができました。

正直、出発前はアメリカでホームステイをするという実感がなく、英語の勉強に力を入れていたわけでもありませんでした。そのことがあだとなり、実際に生活する中で自分の意思をうまく伝えることができませんでした。今となってはなぜ勉強をしなかったのだろうと後悔しています。しかし、終わってしまったことはどうすることもできません。これからは、英語に対しての考え方を換え、もっと頑張りたいと思います。

アメリカ滞在中、驚くことがたくさんありました。たとえば、ものの大きさについてです。レストランへ連れて行ってもらった時、量の多さに圧倒されました。さすがアメリカ人、と書いていましたが、ホストファミリーの中で完食していたのはお父さんだけでした。完食が「おいしくいただきました」の目印となっている日本では考えられないと思います。食料自給率が高いアメリカならではの考え方です。また、ヨセミテ国立公園では、日本の自然とは比べものにならないスケールに驚きました。緑が好きな私にとって、忘れられない思い出になりました。

わくわくしてばかりの毎日でしたが、アメリカと日本のそれぞれの良さにも気付くことができたと思います。そのうちの一つが人々の行動です。日本人はほとんどの人が時間をきちんと守ります。一方アメリカ人は、ゆったりとした生活を送っていて、時間にルーズだなと感じました。私のバディは放課後、部活動がないために、たくさん遊んで勉強もしっかりしていました。日本ほど塾が広まっていないから友達の家に行ったり、習い事をしたりできると思います。そんな生活は小学生以来していないので、少しうらやましかったです。

また、ホームステイ中、自分は周りにいる人に支えられて生活している事に気付きました。2週間近く親と離れて生活すると、身のまわりのことをどれほどやってもらっていたのかということが身に染みしました。帰国してからは、時間があれば何かお手伝いをするようにしています。母には「どうしたのよ」と心配されますが、せっかく気付くことができた感謝の気持ちを大切にしていきたいと思っています。

こうして振り返ってみると、自分がアメリカで過ごしたのはまだ夢のようです。目標にしていた「たくさんの人とコミュニケーションをとる」ということも達成でき、心に残る、よいパロアルト研修になりました。この研修に携わっている全ての方々に感謝しています。本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通して感じたこと

新治中学校 大石 弥歩

“自分の将来の夢、英語の教師に少しでも近づきたい”

私はこのような思いを胸に今回、この交換交流事業に立候補しました。自分の英語力を高める目的で向かったアメリカ、パロアルト市。そこで私は求めていた言語力以上に素晴らしいものをたくさん得ることが出来ました。

それは、ホストファミリーとの思い出です。学校では、いつもバディのアンジェラと行動を共にし、お昼はホストマザーの作ったお弁当を食べました。ホストデイには映画を見に行ったり、遊園地で遊んだり、様々な場所を訪れました。寝る前の会話が日に日に増えるのも、一緒にパンケーキを作ったことも、どれも全て温かい、素敵な思い出です。この家族と過ごせたことをとても嬉しく思います。

そして、アメリカで充実した日々を送る中で、たくさんのことを学ぶことが出来ました。アメリカと日本の違いです。例えば、アンジェラは1日8時間以上睡眠を取ることが決まりらしく、私が普段6時間くらいしか寝ていないことを伝えると驚かれました。放課後の部活動がなく、学校の帰りも早いからこそ出来ることだと思います。また、アメリカ人はとてもフレンドリーです。学校では、初対面の人も目が合うと微笑み、“Hi!”と声をかけてくれました。これはアメリカ人のとても良いところだと思います。

逆に日本人のよさも見つかりました。家でも外でもアメリカ人は食べ物を残すことにあまり抵抗がないようです。その点、日本人は食べ物に対する感謝の気持ちが高く、素晴らしいと思います。

このようにアメリカ人のよさ、日本人のよさをそれぞれ実感することが出来ました。

アメリカで過ごした10日間。それは驚きと発見に満ち溢れた日々でした。今までの人生で最も刺激的な時でした。

私が無事にアメリカへ行き、日本に帰ってこられたのも、私たち日本人を快く受け入れてくれたパロアルトの方々、私たちの将来に期待して送り出してくれた土浦市の皆様、家族のおかげです。

私はそんな皆さんに感謝し、この経験をこれからの生活に生かして行きたいです。そして自分の目標の実現に向かってがんばります。

パロアルト派遣に協力してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～成田空港にて～

やっとこの日が来たー！
実感がわかない…。
でも楽しみ～☆

赤羽根 菜月

いよいよ出発です！
アメリカを早くみたい！！
少し緊張するけど頑張ります。

内山 侑海

成田空港に到着。
少し緊張しているけど、頑張っ
てきます！！

宇都野 光希

これからアメリカか～。
不安ばかりだけど今のうちに日本
満喫してアメリカで頑張ろう！

遠藤 蘭

大きな期待と、少しの不安
手荷物検査を受けて出国審査、
いざ、アメリカに向けて出発！
頑張ってきます！

舘岡 優希

飛行機に乗ったらアメリカ！！
実感わかないなあ～。

山口 安麻音

成田空港到着！
早く行きたいなあ～楽しみ！
どんなホストファミリーだろう？

上久保 喜仁

茨城より北に行ったことないのに
急にアメリカwww
ちょっと心配かも…。

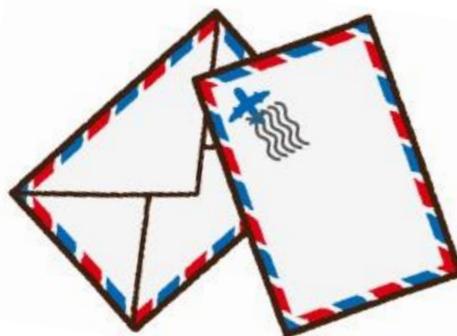
篠原 さら

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～成田空港にて～

もう出発か～。
早いな。まあ頑張ろう！！

河崎 千夏



成田空港にもう着いた！
ドキドキする。

鈴木 直也

土浦から離れて寂しい…。
たくさんの出国手続きを終えて、
いよいよアメリカ！
だけどやっぱり、不安…。

坂井 遥香

いよいよ出発です！
少し不安もあるけど、これからが
とても楽しみです！
ホストに早く会いたいな ^^
それでは行ってきます！

渡邊 悠

まだ日本を発つという実感がわか
ない…。
少し不安もあるけれど、アメリカ
に着くのがとっても楽しみです！

星 梨々花

これから自分がアメリカに行くな
んて信じられない…。
初海外、意外に緊張しないで楽し
めるかも！？

稲見 悠

家族や友だち、学校の先生と別れ
ていよいよ出発。アメリカに行く
実感がまるでない…。
でも楽しみ。行ってきまーす！

大石 弥歩

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～サンフランシスコ到着～

飛行機で全く眠れなかった。
大丈夫かな～？
緊張してきた～！
生英語ヤバイ…。

赤羽根 菜月

街がかわいい、家もかわいい。
アメリカって感じがします。

内山 侑海

ついに着いたぜー。
飛行機は長かった。
ワクワクしてきた。

宇都野 光希

初のアメリカ本土上陸！
周りを見たら日本人が少なくて
怖かった…。
でも楽しくなってきた～！

遠藤 蘭

9時間少しの飛行時間、着陸！！
サンフランシスコに着いたぞ！
入国審査を無事通過。
これから、1日1日を楽しく過ごすぞ！

舘岡 優希

フライト長かったな…。
やっとついた！！

山口 安麻音

おお！！教科書で見たゴールデン
ゲートブリッジが目の前に…。
ちょっぴり感動(´_<)

上久保 喜仁

見るもの全てが新鮮♪
精一杯頑張るぞ～o(´^`*)

篠原 さら

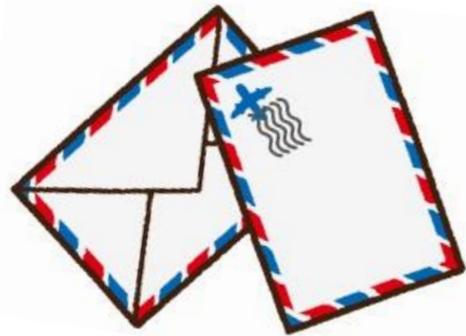
土浦市中学生交換交流事業

研修だより From USA

～サンフランシスコ到着～

やっとついた！
でもなんかアメリカ着いたって感
じしないなあ…。
でもこれから Loeline に会える！
たのしみだな(^ ^)♪

河崎 千夏



アメリカ到着～！
早くバディに会いたいな！

鈴木 直也

長いフライト時間を耐えて、これ
からホストファミリーに会える！
やっぱりまだ不安だけど楽しみ
(^ ^)♪

坂井 遥香

ようやくアメリカに到着しました。
あまり実感がわかりません…。
英語うまく使えるよう頑張ります！

渡邊 悠

飛行機での時間が案外あっという
間だった。
機内食おいしかった～！
周りから聞こえてくる言葉がすべ
て英語だ…。

星 梨々花

周りに日本人がいないっ！！
しゃべっている言語も英語だ～。
ちょっと不安になってきた…。

稲見 悠

つ、つ、ついたー！
ついにアメリカ。
体はだるいけど、心臓はドキドキ。
がんばるぞ。

大石 弥歩

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～前半を終えて～

英語も慣れてきて、バディとたくさんコミュニケーションがとれるようになった！
でも、あと半分しかない…。
時間が速いな～。

赤羽根 菜月

みんなフレンドリーで、
すごく楽しい！！
残りの時間もあと少し。
もっともっと楽しもう。

内山 侑海

もう半分終わっちゃった…。
早いな！
一日一日を無駄にしないように楽しまなきゃ。

宇都野 光希

毎日が新しい発見ばかり！
もう前半終わっちゃった…。
もっとアメリカ色に染まるぞ！

遠藤 蘭

もう前半が終わったの？
あっという間だ！
後半も楽しんで行こう！

舘岡 優希

もう半分過ぎたのか…。
あっというまだったな。

山口 安麻音

早すぎる…。
もう半分過ぎたのか…。
残りの半分を精一杯楽しもう！

上久保 喜仁

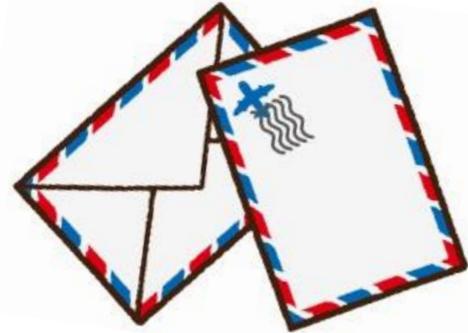
あっという間に過ぎちゃったな
(´・c_・`)
残りも楽しむぞ！！

篠原 さら

～前半を終えて～

え?!もう前半終わり?!!
はやっ!!!!
なんかもう日本に帰らないでここ
に住みたいな～。
後半も頑張らないと!(´・ω・)

河崎 千夏



もう前半終了か～。
残りの時間も頑張るぞ!

鈴木 直也

え!!もう前半が終了??
早いな～～。
残りの時間は、一秒一秒を大切に
して過ごすぞ!

坂井 遥香

やはり楽しいことは過ぎ去るのが
早い…。この5日間とっても楽し
かったです!
残りも楽しみたいと思います!
(^^)

渡邊 悠

時間がたつのがとてもはやい!
アメリカでの生活はとっても楽し
いけど、もう少し英語力があつた
らって思うことが沢山ある…。

星 梨々花

全くホームシックにならずにアメ
リカ生活を Enjoy しています!

稲見 悠

もう半分。
途中ホームシックになりかけたけ
ど、やっぱりアメリカ楽しいな。
後半も頑張ろう♪

大石 弥歩

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～ヨセミテ国立公園見学～

すごく気持ちいい～！
バスの移動、長くて疲れたけど、
ヨセミテの大自然を見たら全部ふ
きとんだー。もう異世界だ。この
きれいさ！！

赤羽根 菜月

初めて見るアメリカの滝と湖。
すごく感動しました。
アメリカのスケール大きすぎ！

内山 侑海

すごい大自然！！
景色も日本と違った美しさが
あった。
スケールは壮大過ぎた。

宇都野 光希

空気も景色もすごい綺麗！
思わずみんなで歌いました。
とっても充実！

遠藤 蘭

国立公園だけあってスケールが
大きい。山・樹・川、これぞ大自
然って感じた。空までが大きく感
じるぞ。中学生が体験していいの
だろうか。

舘岡 優希

滝も、木々も、岩も、
スケールが大きくて壮大！！

山口 安麻音

別の惑星にきたみたい…。
広大な大自然に感動！

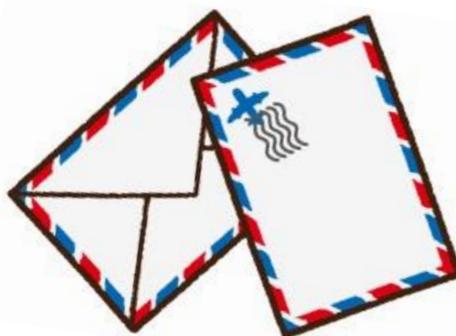
上久保 喜仁

大自然に圧倒された…。
空気がおいしーい！！！！

篠原 さら

うわー！
もう見るものすべてが大きい！
迫力がすごい(◎_◎;)

河崎 千夏



滝すごいきれい。
本当によかった。

鈴木 直也

見たこと無い大きな岩や、滝をたくさん見られて心があらわれた気がするなあ…。

坂井 遥香

素晴らしい大自然！！
滝がすごくきれいでした！
森林浴もできてとっても楽しかったです！！

渡邊 悠

ほんとうに綺麗。写真で見るとは迫力が全然違う。
来られてよかったな～。

星 梨々花

神秘的な景色を見て感動しました…。
やっぱり、アメリカはすごいなあ。

稲見 悠

うわああ…大自然。
日本にはないすごくきれいな景色に感動。
来られてよかったな。

大石 弥歩

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～ホームステイを終えて～

本当にあっという間でした。
こんなにも時間がたつのが早いな
んて…。帰りたくないよ～。
ホント楽しかった。
ありがとう！

赤羽根 菜月

2つの家族に泊めていただき、不
安もたくさんあったけど、とても
優しくしていただきました。すご
く楽しかったです。ホストファミ
リーのみんな、Thank you！

内山 侑海

本当にアッという間だった。
もっとアメリカで生活したかった。
楽しい思い出をありがとう！！

宇都野 光希

もっとアメリカにいたい！ホスト
ファミリーと別れたくない…。
アメリカでしかできない経験をさ
せてくれてありがとう！！

遠藤 蘭

Maxのホストファミリーの方々、
ありがとうございました！
楽しかったです！

舘岡 優希

10日間で本当にあっという間に
過ぎて、とっても楽しくて、有意
義な時間でした。
6月に会えるのが待ち遠しい！

山口 安麻音

帰りたくない…。
皆、今まで本当にありがとう。
絶対に恩返しするからね。

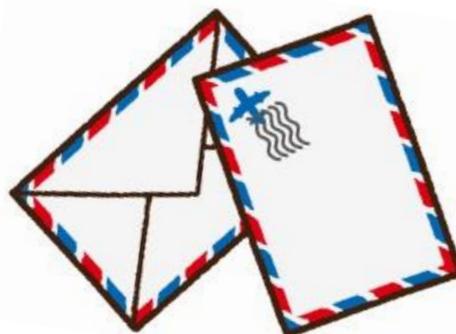
上久保 喜仁

まだ帰りたくない！！！！
本当にありがとうアメリカ
。・°° (ノ口)

篠原 さら

はぁ。もう終わってしまった。
もっとアメリカにいたかったなー。
さみしい…。でもまた会えるから、
その時までにはもっともっと英語
を上達させるぞ！！

河崎 千夏



ああ。終わっちゃった。
すごく楽しかったな～。
ありがとう！

鈴木 直也

ホストファミリーや学校の皆が優
しくしてくれて本当に良い生活が
送れました。
ありがとう！！
またいつか絶対に会いに行くね！

坂井 遥香

10日間って、あっというまです
ね…。
すごく楽しかったし、いい経験が
できました。
本当にありがとう！！

渡邊 悠

本当にあっという間だった。
でもとても良い経験ができました。
アメリカ、ラグナファミリーの皆さん、
ほんとうにありがとう！

星 梨々花

Host family が Robins 家で本当に
良かった！ありがとう！
来日した時には最高のおもてなし
をしないと…。

稲見 悠

Angela、パパ、ママ、たくさんの
思い出をありがとう。
本当にたくさんのことを経験でき
ました。

大石 弥歩

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～日本に帰国して～

あー、帰ってきてしまった。
もうちょっと、いたかったなあ。
夢から覚めた気分です。
英語がだんだん抜けていく…。
また行きたいなあ…。

赤羽根 菜月

日本に帰ってきました。なんかほっと
しました。日本の良さを再発見で
きた気がします！
とても充実した時間を過ごすこと
ができました。
有難うございました。

内山 侑海

やっぱり日本語が聞こえると安心
する。
すごく良い体験だった。
6月に日本で待ってるね。

宇都野 光希

また絶対このメンバーでアメリカ
に行きたいなあ…。
10日間はあっという間で充実し
すぎてるくらいでした！みなさん
ありがとうございました！

遠藤 蘭

まだアメリカにいたかったなあ。
今度はこっちが迎える番だ。
頑張るぞ！

舘岡 優希

ついに帰ってきちゃった…。
もっとアメリカにいたかったなあ。

山口 安麻音

本当にあっという間だったなあ…。
11日前、成田空港に着いたのがつ
い昨日の事のような…。
出来ることなら、時間を巻き戻した
い…。

上久保 喜仁

ただいま日本！
この事業に参加できて、良かった
です！
本当にありがとうございました！

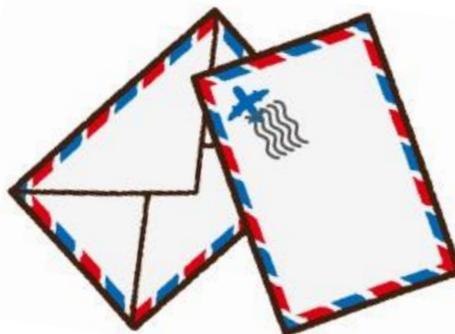
篠原 さら

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～日本に帰国して～

ただいま日本…。
もっとアメリカにいたかったけど、
やっぱりなんかホッとする
(*´ω`*)

河崎 千夏



あっという間に帰って来たな～。
また行きたいなー。

鈴木 直也

パロアルトのみんな！たくさんの
宝物をありがとう！一生大切にし
ますね！
やっぱり日本は落ち着く～～。
久しぶりに湯船につかりたい。

坂井 遥香

帰ってきました。少し疲れたけど、
かなり安心しました。
アメリカも日本もいいところです。
このような貴重な体験をさせてい
ただきありがとうございました。

渡邊 悠

飛行機で寝られなかったから、
とても眠い。
帰ったら白米が食べたい！！

星 梨々花

アメリカに行った気がしない(笑)
でも色々な思い出ができた！
素晴らしい経験をありがとうございました！！

稲見 悠

久しぶりの日本に興奮！アメリカ
に行っていたのが夢のよう…。
素晴らしい経験をありがとうございました。
Angela、日本でまた会おうね★

大石 弥歩

決意を誓った結団式

土浦市の15人の生徒たちは、土浦市交換交流事業の第22回派遣生として、それぞれの思いをもってこの日を迎えていました。そして、「自分の語学力は通用するだろうか。」「アメリカの文化に直接触れたい。」など生徒たちの顔からは、不安と期待の入り交じった思いが見てとれました。そして私たちは、自分達の思いやこの事業に関わらせていただいた感謝を胸に誓いパロアルトへ出発しました。

大歓迎で迎えられた出会い

カリフォルニアの雄大な自然に迎えられ、パロアルトに到着し、緊張した面持ちで歓迎会に向かいました。するとそこには、ネイバーズアブロードのみなさんをはじめ、パロアルト市長や領事館の方など大勢の人々が私たちを待っていてくれました。生徒たちは何とか自分のホストファミリーを見つけ出し、お互いに緊張した中でも挨拶を交わすことができました。あっという間に打ち解け合い、広場で遊んだり、言葉数少ないながらもコミュニケーションをとったりする様子がみられました。そして、それぞれのホストファミリーの家へと向かっていきました。

現地のミドルスクールでの生活

生徒たちは、JLS ミドルスクールとジョーダンミドルスクールの2校に分かれて生活体験を行いました。そして、それぞれの学校の日本語クラスに参加することとなりました。それぞれの学校では、日本語クラスの先生の計らいで、ウェルカムパーティーが行われ、とけん玉をしたりカリフォルニアロールを作ったりと、土浦市の生徒にとっては、初めての体験を現地の生徒と共に楽しく学ぶことができました。

現地の生徒は日本が大好きで、日本語を真剣に学ぼうとする姿勢も素晴らしく、印象的でした。また、土浦市の生徒から話を聞くと、自分のバディのことをたくさん知ったようで、それを私に嬉しそうに話してくれました。また、生徒たちのホームステイ先での生活がうまくいっていることを知り、私自身も、安心することができました。現地のミドルスクールの校長先生との面談では、日本の中学校との違いについて大変驚かれました。日本には、清掃の時間があり、整理整頓された自転車置き場があることや、先生が教室を移動することなど、日本では当たり前のことがアメリカにはない良い習慣だとほめて頂きました。

また、パロアルト市の教育長との面会や市議会への招待を受け、私たちを紹介してくださいました。これらのお話でも私たちのことを歓迎してくださっていることを実感し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

パロアルトの街

パロアルトは「大きな木」という由来の通り、木々が立ち並び、きれいに植えられた花々は美しく、自然豊かな街でした。また、近くにはシリコンバレーの大企業が立ち並び、それを支える教育としてスタンフォード大学や高校など地域が一带となって街をよくしていこうという意識がみられました。スタンフォード大学の見学では、大学生に案内してもらい、広大な敷地を見学しました。生徒たちは素晴らしい大学に魅せられて、将来への夢が広がったようでした。このような良い環境の中、土浦市の生徒たちはのびのびとホストファミリーとの生活を楽しめたようでした。私自身も大変うらやましく思いました。

ヨセミテ国立公園

ヨセミテ国立公園では2日間かけて、散策を楽しみました。今年は冬に雨がよく降ったおかげで、滝の水量も豊富で大迫力の景観に生徒たちも大感激でした。また、こちらもお目にかかるのは珍しいミラーレイクを見ることができました。アメリカの規格違いの大自然に大変感銘を受けました。

最後の別れと約束

あっという間に10日間は過ぎ去り、バディやホストファミリーへの答礼パーティーを行いました。生徒たちはこれまでの感謝の気持ちを伝えることができました。緊張でいっぱいだった初日とはまるで違い、涙を流し、抱き合い、別れが惜しくてバスになかなか乗ろうとしない生徒たちの姿を見ることができました。そして、パロアルトのみなさんと日本で再会することを約束してパロアルトを後にしました。

さて、引率者として、このような素晴らしい事業に参加させていただいたことは私自身にとっても大変貴重な経験となりました。また、土浦市からアメリカへと渡って活躍する生徒や日本に来て活躍する生徒など夢が広がるこの事業の素晴らしさを改めて知ることとなりました。さらに、この関係が続いているのはこれまでに関係された多くの人々のおかげであると感じております。今後も、土浦市とパロアルト市の歴史ある姉妹関係がいつまでも続くことを期待しています。最後に、今回の土浦市交換交流事業引率にあたり、多大なご協力をいただきました土浦市ならびにパロアルト市の関係の皆様方に深く感謝申し上げます。そして、今回の経験が15人の土浦市の生徒にとってかけがえのない思い出となり、この経験を活かして、希望ある将来に向けて邁進していくことを願っています。

引率者より

土浦市市民生活部市民活動課 田口 牧穂

平成28年3月12日、土浦市生徒15名と私達引率者2名は、カリフォルニア州パロアルト市に向かい、土浦を発ちました。この日の生徒のみなさんの期待に満ちた表情や、緊張を感じながらも浮き立っていた様子は、今でも印象深く思い出されます。

パロアルトに到着してすぐのウェルカムパーティーではホストファミリーのみなさんがたいへんな歓迎をしてくださり、生徒たちもあっという間に打ち解け合っていました。その後の10日間の滞在もパロアルトの多くの方々に支えられ、終始笑顔が溢れる中で過ごすことができました。

パロアルトでの滞在中、生徒のみなさんはそれぞれに精一杯の仕方で異文化を吸収し満喫していたようでした。また、将来の夢について語ってくれた生徒もいました。その姿を見ていると、私まで希望に満ちた気分させられました。生徒のみなさんには、見知らぬ地での生活を体験する中で、言葉や文化の違いのために上手くいかなかったことや、驚いたこと、期待と違ったことなどもあったのではないかと思います。しかし、世界に様々な人がいてそれぞれの文化や暮らしがあるということは、将来の人生にもそれだけたくさん可能性があるということでもあります。この事業で異文化交流を経験したみなさんには、ぜひこのことをおおらかに受け止めて、これからの人生に活かしてほしいと願ってやみません。

今回は、私自身にとっても初めてのパロアルト訪問でした。私が中学校二年生の時にも土浦市はこの中学生交換交流事業を行っていて、当時から事業のことは知っていましたが、自分が引率という役割で事業に係わることになることは、少し前までは思いもよらないことでした。今回は大変貴重な縁に恵まれたと思っています。

初めて訪問したパロアルトでしたが、現地で開放的な学校や、芝生に囲まれた住宅が並ぶかわいらしい町並み、シリコンバレーで日々生まれる最先端の情報技術を目にして、私もすぐにパロアルトの魅力を肌で感じることとなりました。しかし、何よりも大きな魅力は、出会う人誰もが温かに私達を受け入れてくれたことでした。

パロアルトを訪問するまでに、中学生の交流事業が行われるようになった経緯や、東日本大震災が起きた際には大きな支援をいただいたことなど、これまでのパロアルトとの交流について知り、このような友好関係がこれまで長く続いていることはとてもありがたいことだと思いました。この交流を継続・発展させていくために、これから私もますます努めていきたいと、気持ちを新たにしました。

初めての引率で、至らない点が多々あったと思いますが、多くの方々のご協力と応援を得て今回の派遣を無事終えることができました。最後になりますが、みなさまに改めてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

受入れの部

平成28年6月土浦市中学生交換交流事業(土浦市受入れ) 参加者名簿

1. ホームステイ組み合わせ

土浦市側		パロアルト市側	
氏名	学校名	氏名	学校名
赤羽根 菜月	土浦第一中学校	Daisy James デージー・ジェイムズ	ジョーダン中学校
内山 侑海	土浦第一中学校		
宇都野 光希	土浦第二中学校	Evan Bian エヴァン・ビエン	JLS 中学校
遠藤 蘭	土浦第二中学校	Amelia Mao アメリア・マオ	JLS 中学校
舘岡 優希	土浦第三中学校	Max Robinson マックス・ロビンソン	JLS 中学校
山口 安麻音	土浦第三中学校	Wendy Sakuma ウェンディ・サクマ	JLS 中学校
上久保 喜仁	土浦第四中学校	Quinn Arbolante クイン・アーボランテ	JLS 中学校
篠原 さら	土浦第四中学校	Anali Santos アナリー・サントス	ジョーダン中学校
河崎 千夏	土浦第五中学校	Loeline Rudelle ローライン・ルデル	ジョーダン中学校
鈴木 結衣	土浦第五中学校	Eric Neuman エリック・ニューマン	パロアルト高校
鈴木 直也	土浦第六中学校	Riley Tsang ライリー・ツァン	ジョーダン中学校
坂井 遥香	土浦第六中学校	Erin Lucich エリン・ルチッチ	JLS 中学校
渡邊 悠	都和中学校	Connor Beaudry コナー・ボードリー	ジョーダン中学校
星 梨々花	都和中学校	Amelia Lagna アメリア・ラグナ	ジョーダン中学校
稲見 悠	新治中学校	Krista Robins クリスタ・ロビンス	ジョーダン中学校
大石 弥歩	新治中学校	Angela Bi アンジェラ・ビ	ジョーダン中学校
宇津木 実優	土浦第四中学校卒	Bryan Tsang ブライアン・ツァン	パロアルト高校

2. パロアルト市側引率者

氏名	備考
Jennifer Buenrostro ジェニファー・ブエンロストロ	ネイバーズアブロード共同副会長
Sharon Robinson シャロン・ロビンソン	Max Robinson 母
Patty Sakuma パティ・サクマ	Wendy Sakuma 母
Joan Arbolante ジョアン・アーボランテ	Quinn Arbolante 母
Wilfred Tsang ウィルフレッド・ツァン	Riley Tsang・Bryan Tsang 父

受入れ日程

日付	主なプログラム
平成28年 6月9日(木)	東京見学 ※パロアルト市参加者のみ (江戸東京博物館、東京スカイツリー、浅草)
	歓迎・交流パーティー 【会 場】 霞浦の湯 大ホール会議室 【時 間】 18時30分～20時30分
10日(金)	日光東照宮見学(パロアルト市参加者のみ)
11日(土)	ホストデイ(終日、ホストファミリーと共に)
12日(日)	ホストデイ(終日、ホストファミリーと共に)
13日(月)	【パロアルト市派遣生】 ホストと中学校体験 【パロアルト市引率者】 中学校訪問(新治中 9時30分～10時30分) (土浦四中 11時30分～13時15分) ※土浦四中にて生徒と給食体験
14日(火)	【パロアルト市派遣生】 ホストと中学校体験 【パロアルト市引率者】 中学校訪問(土浦六中 9時30分～10時30分) (土浦三中 11時00分～12時00分) 高校見学 (土浦二高 16時10分～17時00分)
15日(水)	
16日(木)	関西方面研修(奈良、広島、姫路 ほか) ※パロアルト市参加者のみ
17日(金)	
18日(土)	そば打ち体験(両市派遣生及び引率者) 【場 所】 小町の館 【時 間】 9時30分～12時30分 座禅・茶道体験(両市派遣生及び引率者) 【場 所】 向上庵 【時 間】 13時00分～15時30分
19日(日)	答礼パーティー 【会 場】 ワークヒル土浦 【時 間】 10時00分～12時00分 パーティー終了後、パロアルト市参加者は成田空港へ向けて出発

パロアルト市生徒より

JAPAN ARTICLE (日本でのこと)

By: Erin Lucich

The 12 days I spent in Japan flew by in a flash. The people, food, and culture of Japan have me hooked. I can't imagine not being able to visit ever again. The tastes of Japan still linger in my mouth. The onigiri, tempura, soba noodles, and the meals made by my host family were delicious. But the people were just as wonderful, if not better. The days I spent at my host student Haruka's middle school were some of my best. Everyone helped each other, regardless of gender or age. Similarly to America, Japan's schools were full of chatter. I was incredibly nervous to go to school. In the end, I shouldn't have worried at all, everyone was so polite and kind--it amazed me!



〔和訳〕

12日間の日本の滞在はあっという間の出来事でした。人々、食べ物そして日本文化にひきつけられました。再び訪れることばかりを考えています。日本の味はまだ忘れられません。おにぎり、天ぷら、そば、そしてホストファミリーが作ってくれた食事がおいしかったです。みなさんこれ以上ないくらい素晴らしい方々でした。バディの遥香さんが通っている中学校で過ごしたことが一番よかったことの一つです。性別や学年に関係なく、みなさん互いに助け合っていました。アメリカと同様、日本の学校もおしゃべりであふれていました。学校へ行くことはとても不安だったのですが、結局、心配は全く不要でした。みなさんととても礼儀正しく親切で、驚きでした！

It was sad to leave the school grounds on my last school day. It was time to venture to other parts of Japan, meaning staying at Japanese hotels during our journey. The coolest hotel we stayed at was the Hakushika-so Ryokan hotel. Students and chaperones alike got to sleep on tatami mats. Not only that, but there were public baths there too. It was like a scene straight out of an anime. The architecture of the Nikko temples was beautiful. Of course, I believe a lot of the terrain of Japan is beautiful. The green rice fields, mountains, and trees were very refreshing. If you ever want to go outside of the U.S for vacation, Japan is one of the top countries I recommend.

〔和訳〕

登校最終日、学校を離れるのは寂しいことでした。そして日本の他の地へ足をのばす時間となりました。つまり日本風ホテルに滞在する時がきたのです。最もすてきな旅館は、白鹿荘でした。生徒も引率も同じように畳の上で眠りました。さらに、大浴場もありました。まさにアニメから抜け出たような光景でした。日光寺院群の建築は美しかったです。もちろん、多くの日本の地域は美しいと思います。緑の田んぼ、山や木々はとてもさわやかでした。休暇でアメリカ国外へ行きたいのなら、日本は私がおすすめする最高の国の一つです。

When I think about Tsuchiura it brings to heart and mind so many vibrant and wonderful memories of the student-exchange program and the fellowship and friendship of our Sister Cities. For the sixteen students from Palo Alto, many of whom had never ventured to Japan, the visit cultivated a beautiful cultural experience: the opportunity to immerse themselves with their homestay host family, converse in the Japanese language for which they have been studying, attend and learn from the Tsuchiura Middle school's curriculum, and see Japan's many facets of its rich cultural heritage, its people, its lifestyles, where the old world gracefully balances with the 21st-century technology.

〔要訳〕

土浦に思いを馳せると、わくわくした多くの思い出がよみがえります。パロアルトからの16人の生徒は、大半が初めての日本訪問でしたが、素敵な文化体験をしました。ホストファミリーとの交流、勉強中の日本語での会話、中学校体験、豊かな文化遺産や人々、ライフスタイル等、そこでは新旧が美しく調和していました。

This program presented the students with opportunities to see and experience Japan's many cultural facets from the fast-paced life in Tokyo to the beauty of the countryside and extending to the harmony of Zen meditation and Tea ceremony at a Kojo-an in Tsuchiura. The twelve-day visit was truly a memorable experience for the chaperones and sixteen students from Palo Alto.

〔要訳〕

この事業は、生徒が日本文化の種々の特徴を知る機会となりました。あわただしい東京からはじまり、のどかな土浦の美しさを体験することができました。12日間の訪問は、16人のパロアルトからの生徒や引率にとって実に忘れがたい経験となりました。

Our adventure began soon after arriving in Japan and departing from Narita to Tsuchiura. We took an excursion through Tokyo to the Edo Tokyo museum where our students viewed how early life once was in the area of Tokyo. Followed by a visit to the highest tower in Japan, the Sky Tree where (on a clear day) views of the surrounding 360-degree area can be seen. It was then a small jog to Asakusa with its spectacular temple and a visit through the Nakamise where vendors sell many goods and gifts (Omiyage) along with sweets and the irresistible Matcha ice cream.

〔要訳〕

日本に到着し、成田から土浦へ向かう途中、東京に立ち寄りしました。まず江戸東京博物館を訪れました。生徒は東京がかつてどのような姿だったかを見ることができました。続いて日本一高いスカイツリーです。(晴れた日には) 周囲全方向が眺められるのです。そして浅草です。すばらしいお寺とお店が連なる仲見世を散策しました。

Arriving in Tsuchiura, with much anticipation in the air, we were greeted to an incredible reception--our host families' greeting was like a homecoming of loved ones. Full of excitement, a sea of smiles as students immediately rekindled their friendship and bonded with their extended family. We were treated to a wonderful dinner reception with many guests, city officials of Tsuchiura, our special Tsuchiura City Office and Tsuchiura International liaisons, and our Tsuchiura host families.

〔要訳〕

土浦に到着すると、ものすごい歓迎を受けました。まるで愛する人の帰郷のようでした。生徒同士は友情に再び火が付き、きずなを深め、興奮と笑顔でいっぱいでした。来賓、土浦市、土浦市国際交流協会やホストファミリーの皆さんによるすばらしい歓迎会が催されました。

As our students settled in over the weekend with their host family and fellow exchange student, they enjoyed and experienced an array of traditional Japanese family meals and foods while sharing stories and learning about traditional customs and etiquette. For some, the weekend ranged from joining along with family activities, sightseeing Tsuchiura and neighboring cities, visiting Ushiku Daibutsu (World's tallest bronze Buddha), shopping at the Aeon Mall, attending the local and school festivals, and gathering with other families for an evening of fun fireworks.

〔要訳〕

生徒たちは週末をホストファミリーやバディと過ごしました。ともに語り、また伝統的な習慣や礼儀を学びながら数多くの日本の家庭料理を経験しました。それぞれが、家族と共に土浦や近郊を観光したり、牛久大仏を訪れたり、買い物したり、地元のお祭りや学校の文化祭に参加したり、ホストファミリーが集まって花火を楽しんだりしました。

For the next several days our Palo Alto students attended the Tsuchiura Middle Schools with their host student, immersing themselves in their studies. Similar to the U.S., the Japanese-student curriculum includes math, science, history, social studies, music, physical education, and English-language instruction. While the students attended school, the chaperones were invited to visit and tour several of the Middle Schools in which our students were attending. There we met with the School's senior staff and learned more of the school history and visited various classes. Our visit began with Niihari Middle School, one of the very first schools in Tsuchiura Ibaraki prefecture. We also had the opportunity to visit Tsuchiura #4, #6, and #3 (More commonly referred to as Junior High). The Middle School student body ranged from 400 – 600 students and their uniforms differ from school to school. In contrast to Palo Alto schools, the initial site when entering a Tsuchiura school is immediately seeing rows upon rows of shoes placed neatly in the student bins in exchange for slippers which is a traditional custom of wearing clean shoes when inside. It's impressive to see the cleanliness and organization of these schools.

〔要訳〕

その後数日、パロアルトの生徒は、バディと一緒に中学校に登校しました。彼らが学校へ行っている間、引率たちは自分の子供たちが登校している中学校へ招かれました。教師からそれぞれの学校の歴史について学び、様々な授業を見学しました。新治中学校を皮切りに、土浦第四、第六、第三の各中学校を訪問しました。中学校は400人から600人ぐらいの生徒数で、制服は学校によって異なります。パロアルトとは対照的に、学校に入るとすぐに、整然と並んでいる靴箱が目に入りました。学校の清潔さや、秩序だった様子を見るのは、印象深いものでした。

Even with the rigors of their courses, the Tsuchiura students are very involved and their teachers teach with a passion to enrich their students' futures. It was evident that Tsuchiura students enjoy their school days. In addition to the impressive student artwork adorning the school hallways, we admired the many sports awards and commendations that proudly displayed the school's achievements. During a visit to the track and field we saw how students greatly enjoyed the field sports.

〔要訳〕

生徒たちはとても勉強熱心で、教師は一生懸命に教えていました。生徒が学校生活を楽しんでいるのがわかりました。校舎の廊下に飾られた上手な美術作品や、部活動でのたくさんの表彰状には感心しました。グラウンドで授業を見学すると、生徒は陸上競技をととても楽しんでいるのがわかりました。

On one visit to a Middle school, our chaperones had the opportunity to have lunch with the Tsuchiura students. The lunch period differed greatly from the experience of Palo Alto students who typically eat lunch in the cafeteria or outside on the school grounds. Instead Tsuchiura school lunches are held in their homeroom in which the hot meal served was similar to a meal at home. Large kettles containing the food, rice, and assorted vegetable was served by an assigned group of students. Having lunch in the homeroom certainly gives time to enjoy the company of the other students. To improve social interactions, the students turned their desks to face each other so they could easily converse.

〔要訳〕

中学校では、生徒たちと給食を食べる機会がありましたが、それはカフェテリアや校庭で食べるパロアルトのランチタイムとは大きく異なります。土浦では、給食は各教室で、家庭の食事のような温かい食事がふるまわれます。おかず、ごはん、つけあわせの野菜がそれぞれ大きな容器に入れられていて、担当の生徒たちが配膳を行います。向かい合うように机の向きを変えるので会話も弾みます。

For the first time in this program's history, we also had an opportunity to tour one of Tsuchiura's High Schools to view the school club programs. A much larger campus in comparison to the Middle school it continues to carry forward the curriculum in the student's path to college. The high school also has a vibrant student body. When we arrived, we were greeted by the students from the International Club who took us on a tour of the many after-school activities. One in particular was the calligraphy club where the chaperones were able to try their hand at the art and afterward were presented a special gift to frame the art work by the students. Another presentation was by the Koto, or Japanese harp, club where the students played beautiful music for us. We then continued our visit through the halls where students practiced with their music and then over to the gymnasium to view the badminton, table tennis, Kendo, Shorinji-Kempo, and pop-music dance clubs. The school tour experience was breathtaking and unforgettable.

〔要訳〕

この交換事業が始まって以来初めて、高校の部活動を見学する機会に恵まれました。中学校と比べて敷地は広く、生徒数も多いです。高校に到着すると、校内を案内してくれた国際交流部の生徒たちの出迎えを受けました。書道部では、引率は自ら書道に挑戦し、部員たちからは特別な色紙飾りをいただきました。箏曲部では美しい音楽を披露していただきました。体育館ではバドミントン、卓球、剣道、少林寺拳法、ダンスの各部を見学しました。高校見学の経験はすばらしく、忘れがたいものとなりました。

Not to be overlooked. During our stay in Tsuchiura we also experienced a mild earthquake. Being from California it seems to be normal but it was truly amazing and unexpected.

〔要訳〕

見過ごせないことがありました。土浦滞在中、若干の地震を経験したことです。カリフォルニア出身なので取り立てて言うほどのことではないように思われますが、驚くべきことで、また突然のことでした。

In the evenings many of the host families would get together for some fun enjoyment of fireworks.

〔要訳〕

晩には、ホストファミリーが集まり、花火を楽しみました。

Our Kansai trip presented experiences that our students and chaperones will likely talk about and remember forever. Traveling to Nara and touring the Todai-ji Temple that houses the Great Buddha, and Nara Park to feed the deer that would bow to greet you, were incredibly educational and impressive.

〔要訳〕

関西旅行は長く記憶に残るものになりそうです。奈良では、大仏を有する東大寺やシカに餌をあげられる奈良公園などがとても印象的でした。

For many of our students our overnight stay at a Ryokan brought a traditional dinner experience that included captivating sashimi, tempura, cooking items in a parchment bowl over fire, miso soup, daikon, pickled vegetables, and petite manju sweets. When it came time to turn in, sleeping in a tatami room on a futon was a treat. For the more cultural experience, students soaked in an Onsen.

〔要訳〕

旅館で伝統的な和食をいただきました。和室で布団に寝るのは格別でした。温泉にも入りました。

The excursion to Kansai was capped off with a whirlwind of rail connections that would bring us home to Tsuchiura and our host families once more. During our easterly return to Tokyo on the Shinkansen, we were treated to a view of the majestic Mt. Fuji along with the grandeur and serene beauty of the countryside giving our student time to reflect and write letters home to loved ones. Our final weekend we had fun making Soba and experience Zen meditation. As we come to a closing with a farewell party, it was a time to reflect, a time to celebrate, and a time to bid farewell to our extended family we've come to know and love.

〔要訳〕

関西旅行はあっという間に終わり、再び土浦へ戻りました。新幹線で東京に戻る途中、荘厳な富士山や美しい風景を眺め、家族宛ての手紙を書きました。最後の週末はそば打ちしたり、座禅を体験したりしました。答礼パーティーが終わると、日本の家族に感謝とお別れを述べる時間となりました。

I could not have imagined how exciting and rewarding our Sister-City student-exchange program was until I was able to experience this personally. I, along with all of the students and chaperones, had a wonderful and unforgettable experience. In the course of 12 days, so many new friendships had blossomed between our students and their host families creating a truly everlasting bond. My own experience being a part of this year's Exchange program was incredibly rewarding. I got to meet and know so many people and make new friends along the way. Accolades to Diana and Jennifer, whom through their dedication, love, and fostering made our Tsuchiura-student-exchange program successful. We are truly and deeply grateful for the support of our dear friends with Tsuchiura International, the Tsuchiura City Office, the many Tsuchiura city officials, Tsuchiura Middle Schools, our Neighbors Abroad organization, and most cherished our Palo Alto and Tsuchiura families whom without their support could never have made it possible.

〔要訳〕

自ら姉妹都市中学生交換交流事業を経験するまでは、この事業がこれほど価値あるものと思いませんでした。他の生徒や引率同様、素晴らしく忘れられない経験をしました。12日間で多くの友情と絆が生まれました。私自身も多くの人々と出会い、友達ができました。ダイアナとジェニファーには感謝しています。この事業に一生懸命尽くしてくださいました。土浦市国際交流協会、土浦市、市職員、各中学校、パロアルトのネイバーズアブロード、そして両市のホストファミリーによるサポートのおかげでこの事業を成功させることができました。

土浦市保護者より パロアルトからの受け入れを通じて感じたこと
鈴木 清美エウザ(土浦六中 鈴木 直也 保護者)

今回、土浦市中学生交換交流事業に参加させて下さったおかげで素晴らしい思い出、かけがえのない貴重な体験ができたことを、土浦市ならびパロアルトの関係者に心から感謝申し上げます。

「行きたい」の一言から始まった交換交流でしたが、英語が全然出来ない息子は3月パロアルトから帰って来ると、すごく喜んで楽しかった話をいっぱいしてくれました。バディのライリー君は日本語がよくできて、ホストファミリーとの会話の通訳をしてくれました。

受け入れるのは心配でしたが、もう一人家族がふえたと思って一緒に楽しむようにしました。映画を見たり、ゲームセンター、原宿、秋葉原、渋谷に行ったり、花火をしたり、ライリー君が来たおかげでいろいろと家族も楽しめました。

クッキングナイトではアメリカの料理を作ってくれて、とても美味しく家族全員が完食したのをライリー君はすごく喜んでいました。

初めは大変だと思っていましたが、息子が参加したおかげでこのようなかけがえのない体験ができました。これからもホストファミリーとの交流を続けていきたいです。

市民活動課の皆さんにも大変お世話になり、心から感謝を申し上げます。



この度、中学生交換交流事業を通じて、私達家族は大変貴重な体験し、素晴らしい思い出を沢山つくることができました。土浦市国際交流協会の皆さま、パロアルト市並びに土浦市の関係者の皆さまのサポートとご尽力に心より感謝申し上げます。

娘は最初の頃不安な気持ちで一杯のようでしたが、滞在前の研修会に参加して、英語でのコミュニケーション能力を徐々に上達させ、初めての海外体験は楽しいスタートを切ることができました。パロアルトの生活に慣れるのか等心配が多々ありましたが、親の心配もよそにホストファミリーと共に様々な初体験をしたり、有名なスタンフォード大学やヨセミテ国立公園を見学させて頂いたり、アメリカでの生活をとても楽しんでいました。パロアルトでの滞在はとても短い期間でしたが、帰国後、娘の変化を見ますと、一回りも二回りも逞しく成長したように感じて、親として大変嬉しく思いました。

6月にはバディを受け入れる側になり、バディは日本のアニメが大好きと聞き、ホストデイに様々な計画を立てました。英語で日本の文化や習慣を説明するのに四苦八苦しましたが、子供達のかげがえのない笑顔を見ると言葉の壁を乗り越えて心が通じ合える仲間になれた気がします。日本での滞在スケジュールはかなりハードでしたが、バディはどの行事も一生懸命参加し、その後必ず私に感想を教えてくださいました。この事業のお蔭で、バディだけではなく私達も日本文化の素晴らしさを再認識する事が出来ました。最後の答礼パーティーを終えたお別れのとき、土浦の子供達がバスを追いかけていく姿を目にして国や言葉が異なっても子供達の中に強い絆が生まれた気がして感銘を受けたのを覚えています。

今回のこの事業を通じて双方の派遣生共々住み慣れた地域以外の国の生活を体験し、異なる文化に触れたことは子供達にとって大変有意義なものだったと思います。これからもこの様な機会を多くの子供達に与えて、土浦市が将来グローバルな都市へ発展していく為に協力して貰いたいと強く願っております。



活動紹介写真

☆パロアルト市派遣(平成28年3月12日～22日)

結団式～出発



▲ 緊張の結団式



▲ 成田空港にて もうすぐ出発!

ウェルカムパーティー



▲ 手づくりの歓迎ポスター



▲ みんなで初めての挨拶!

▼ さっそくゲームで打ち解けました



▼ 誕生日に近いメンバーへお祝い



学校訪問



▲ カリフォルニアロール作りを体験！



▲ 日本語クラスのみんなで歓迎してくれました



授業の様子



▼ 学校からのプレゼントを受け取りました

▼ 一緒にけん玉に挑戦しました



パロアルト市議会訪問



▲市議会では全員が名前を呼ばれ、紹介されました

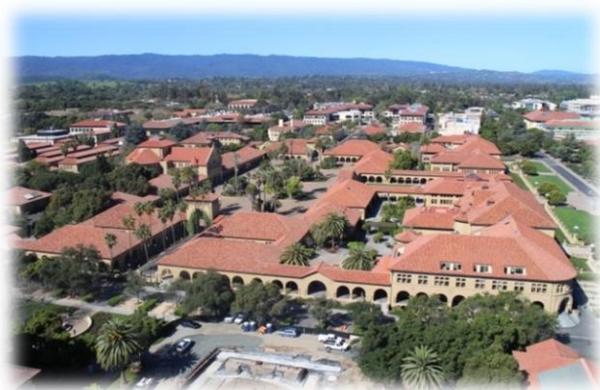


▲パロアルト市庁舎前にて

スタンフォード大学見学



広大なキャンパスにびっくり

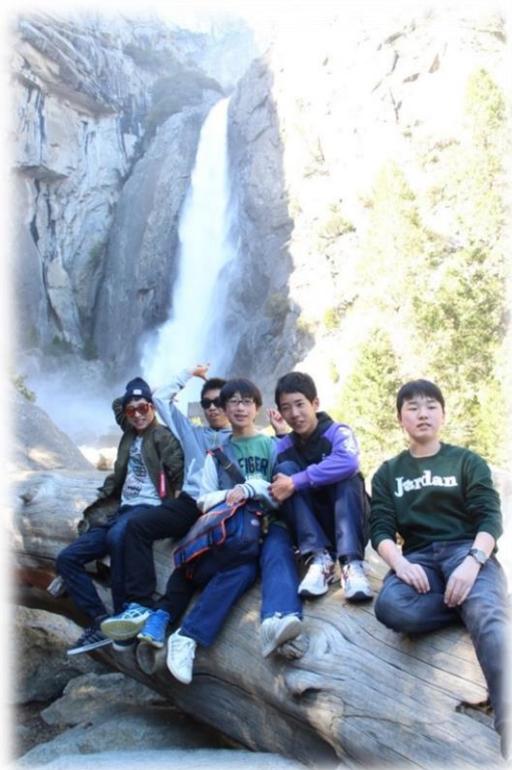


▲屋外なのに声が響く空間「エコーサークル」



キャンパス内にある教会 ▶
メモリアルチャーチ

ヨセミテ国立公園見学



▲ 滝の間近まで接近



▲ 一番の名所「ハーフトーム」をバックに



▶ 広大な園内をバスが走ります ▶

▼ 「ミラーレイク」を見ることができました



▶ 公園内のゴミ箱にはクマに荒らされないようフタがついています ▶

ビンゴナイト



▲ ゲームで盛り上がりました！

◀ 「けん玉大会」



答礼パーティー



◀ 会場の飾りつけやレクリエーションを準備し、ホストファミリーへの感謝を伝えました



▲ バディと土浦での再会を誓いました



▲ ホストファミリーみんなに見送られました

サンフランシスコ市内見学



◀ サンフランシスコ市内を一望
できる名所
「ツインピークス」にて

サンフランシスコといえば ▶
「ゴールデンゲートブリッジ」
この時はあいにくの雨でした！



サンフランシスコ市内の様子

▼ 坂道の多いビル街をケーブルカーが走ります



観光客でにぎわう▶
フィッシャーマンズワーフ



パンでできた器入りの▶
クラムチャウダーが名物



☆パロアルト市生徒受入れ(平成28年6月9日～19日)

歓迎パーティー



◀ 3か月ぶりの再会！

日米の生徒代表から挨拶



歓迎の乾杯！▶



学校訪問



お揃いの制服が嬉しい！



▼音楽の授業では合唱に挑戦



クラスメイトと一緒に ▶



▲クラスメイトに自己紹介をしました



▲すっかり教室に馴染んでいる様子

パロアルト市引率者 部活動見学(土浦第二高等学校)



◀〔書道部〕
お手本にならって書道を体験しました

〔少林寺拳法部〕▶
迫力ある練習を見学しました



〔箏曲部〕▶
初めての和楽器に感激しました



パロアルト市生徒 関西方面研修



◀土浦駅でお見送り 「行ってらっしゃい！！」



▲浴衣を着て日本食を楽しみました



▲姫路城前で記念撮影

そば打ち体験



◀まずはお手本をよく見て…



生地を練って薄く伸ばします



細く切るのが難しい！



自分で作ったそばの味は格別！



座禅・茶道体験



▲まずは座禅の体験、脚の組み方が難しい！
もちろん警策も体験！▶



茶道体験



和菓子や茶道具に興味津々



お寺で日本らしい文化を味わう
貴重な体験でした



答礼パーティー



▲ 白熱のチーム対抗「おはしゲーム」

バディの似顔絵コンテストの入賞者に景品が贈られました▼



パロアルト市生徒から日本語で挨拶▼



▲ 空港へ向かうバスにいつまでも手を振りました



**平成 28 年度 土浦市中学生交換交流事業
(パロアルト市) 実施報告書**

編 集／平成 28 年度 土浦市中学生交換交流事業派遣生・保護者及び引率者
発 行／土浦市国際交流協会

土浦市大和町 9 番 1 号 土浦市市民生活部市民活動課内

TEL 029-826-9051

